

三重県の文化財保護

平成27年度

勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作

2018.3

三重県教育委員会



例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が平成 27 年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I	文化財の指定・登録	
1	県指定文化財の指定	1
2	県指定文化財の解除	10
3	国登録文化財の登録等	11
4	市町指定文化財の指定等	16
5	三重県文化財保護審議会	17
II	県実施の調査・保護事業	
1	特天カモシカ天然記念物食害対策事業	18
2	世界に誇る三重の文化財記録事業	19
3	世界遺産熊野古道保存管理事業	19
4	史 県内遺跡 発掘調査等事業	21
5	市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	22
6	(史) 齋宮跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業	22
7	重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業	22
III	文化財補助事業等	
1	国庫補助事業	23
2	県費補助事業	34
3	民間団体による助成	38
IV	文化財の管理・普及	
1	登録審査	39
2	文化財の管理	40
3	国・県指定文化財に関する諸届等	47
4	文化財の公開・普及	49

【表紙 太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作 天文十二年五月】

【裏表紙 三重県内国・県指定等文化財数】

I 文化財の指定・登録

1 県指定文化財の指定

(1) 絵画

絵第47号 絹本著色 仏涅槃図

1 幅



【銘文（巻留に墨書）】
涅槃像菜名十念寺常住為應譽慶圓往生
極樂表補絵認所也 施主伊藤庶（虎力）松
天正十八庚寅歳林鐘十九日願主比丘蓮譽宗念
寛延二己巳天十月
奉再表具涅槃像 願主 以譽上人
同 等譽上人（以上同筆）下段へ続く

應譽生心
專譽妙光
了源信士
頓譽圓心
義譽玄量
二親菩提
源譽生雲
宗譽月秀
照室妙光
沾室妙法
香屋妙薰
專室妙禰
隨岳相順
釈尼妙信
二親菩提
二月十四日志
為菩提志
見光了智
法岸妙照
清岳光雲
寂譽妙照
普法常音
觀了信士
清岸淨法
聰學明智
淨室妙住
隨譽妙順
梅室智春
如月傾西
光放照樹
康譽壽源
離峰妙嚴
二親菩提
固覺堅英
光室妙融
普光院菩提
為林菩提

- 【告 示】三重県教育委員会告示第4号（H28.2.19 発行三重県教育公報号外）
- 【指定日】平成28年2月3日
- 【所在地】桑名市伝馬町53番地
- 【所有者】宗教法人 十念寺
- 【規模・品質・形状】縦145.9cm、横162.6cm、絹本著色・掛幅装、四副一鋪
精緻な画絹(経糸1cmあたり21×2本、緯糸1cmあたり46本)
- 【年 代】室町時代(15世紀)

本図は、桑名市の十念寺が所蔵する涅槃図である。十念寺は、仏光山九品院と号す浄土宗寺院で、もとは朝明郡切畑（現、菰野町）にあったとされる。室町時代に桑名へ移り、慶長期に行われた桑名城下町の整備によって現在地に定まったとされている。

仏涅槃図とは釈迦の生涯を描いた「仏伝図」の一種で、とくにその入滅の様子を示したものである。この絵図は、釈迦の命日である2月15日に行われる涅槃会の本尊として掲げられる。

仏涅槃図は、満月の夜に入滅を迎えた釈迦を中心に描く。釈迦は宝棺の上に北枕で西に顔を向けて横たわり、宝棺の周囲には2株ずつ8本の沙羅双樹が植えられ、向かって右の株は釈迦入滅に際して突然白く変色したという様子を表現している。画面の右上には、忉利天から雲に乗って駆けつける生母摩耶夫人の来臨が描かれている。釈迦の周囲には、入滅を嘆く弟子や信者、菩薩や四天王、八部衆（阿修羅や迦楼羅）といった「五十二衆」と呼ばれる人や仏たちが釈迦を取り囲んでいる。画面手前の下部には、同じく悲観に暮れる様々な動物（想像上のものも含む）が群れ集っている。

十念寺の仏涅槃図は、釈迦が横たわる台（宝棺）のうち、北側の面が見えている。これは、仏涅槃図研究では「第2形式」と呼ばれ、鎌倉時代以降に見られる表現方法である。絵画表現は、釈迦や弟子・その他の人びとが鎌倉時代以降の伝統的な手法で描かれている一方、菩薩・四天王・八部衆などには鎌倉時代以降の、より直接的な中国伝来の表現が見られる。八部衆の一人、緊那羅と思われる者は頭上に一角を持つスタイルで描かれており、本図の特徴である。以上のように、本図には様々な要素の複合が見られるが、とくに図様は甚目寺（愛知県）蔵「絹本着色仏涅槃図」（重要文化財、鎌倉時代）を代表とする甚目寺本系統との共通性が高い。

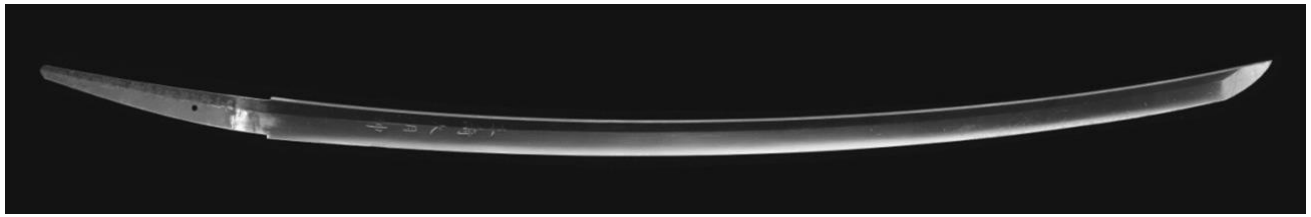
軸裏には、天正18年（1590）と、寛延2年（1749）の修理銘がある。天正18年修理銘は、寛延2年段階に筆写されたと考えられる。天正18年の修理銘に見える「伊藤廡松」は、室町時代の桑名で勢力を有していた伊藤氏一族の可能性が高いが、実名は確認できない。この修理銘によって、本図が室町時代以前から当地にて大切に扱われていたことが分かる。

涅槃会の本尊として用いられる仏涅槃図は、多くの寺院で制作され伝えられている。しかしその多くは江戸時代以降のものであり、室町時代以前のもものは数少ない。三重県内には国・県指定の仏涅槃図が5例あり、このうち4例が室町時代以前に制作されたものである。十念寺の仏涅槃図は、これらとともに古い事例である。

以上のことから、本図は県内では室町時代に制作されたと考えられる数少ない事例のひとつであり、当県で用いられた涅槃図の系譜を考えるうえで重要な資料であると言える。また、室町時代や江戸時代にも修理を経ており、本図は地域のなかで大切に扱われてきたことを示す歴史資料としての価値も有している。

(2) 工芸品

工第72号 太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作 天文十二年五月 2口
つけたり しべんかつなぎもんにしきつつみいとまきたちこしらえ
附 四弁花繫文錦包糸巻太刀拵 二本



【告 示】三重県教育委員会告示第4号（H28.2.19 発行三重県教育公報号外）

【指定日】平成28年2月3日

【所在地】桑名市京町37-1 桑名市博物館(寄託)

【所有者】宗教法人 桑名神社・中臣神社

【規模・品質・形状】

- ① 刃長75.9cm、反り3.0cm、元幅2.9cm、先幅2.2cm、元重0.7cm、先重0.5cm、
鋒長4.1cm、茎長17.8cm 拵：四弁花繫文錦糸巻太刀拵
- ② 刃長75.8cm、反り3.0cm、元幅2.9cm、先幅2.1cm、元重0.7cm、先重0.5cm、
鋒長4.1cm、茎長17.6cm 拵：四弁花繫文錦糸巻太刀拵

形状：鍋造、庵棟、反り高く先反りが強い。

地金、刃文、帽子：不明（刀身に漆を塗っているため）

茎：生ぶ、鑢目浅い勝手下り、先刃上り栗尻、目釘孔1、表裏棟寄りに長銘をきる。

【年 代】天文12年（1543）

銘文に見える村正は伊勢国桑名の刀工で、江戸時代前期に成立した『如手引抄』では美濃国赤坂の刀工兼村の子とする。村正銘の最古のものは文亀元年(1501)で、ほかに永正10年(1513)、本作の天文12年(1543)、天文22年(1553)、天正4年(1576)がある。また、これらの年号よりも古いと見られる作もある。そのため、村正は世襲名で、3代ないしは4代おり、文亀頃を2代、天文頃を3代とみるのが定説である。村正は、隣国美濃の兼定、兼元、備前の勝光、祐定らとともに室町時代後期を代表する名工である。

村正の刀は、江戸時代の軍記物である『柏崎物語』に、徳川将軍家に崇る刀として登場し、「妖刀説」が流布して著名となった。寛政9年(1797)に上演され好評を博した歌舞伎の『青楼詞合鏡』でも、村正の刀は「妖刀」として登場している。

この刀を所蔵する桑名神社・中臣神社は境内を共有しており、桑名の総鎮守として合わせて「桑名宗社」と呼ばれている。中臣神社は春日大明神、桑名神社は三崎大明神とも呼ばれており、刀身佩表の「春日大明神」、「三崎大明神」の彫はこれに由来すると考えられる。銘に見える益田荘は、平安時代後期から戦国時代にかけて存在していた荘園である。当初は摂関家領で、平安時代末期には伊勢平氏が深く関与した。桑名は益田荘の一角にあたり、禁裏御料所(天皇直轄領)として、当文化財の銘に見える天文12年までは確実に存在していた。中世の桑名は、伊勢湾西岸部にあった最大規模の都市であり、重要な海運および流通拠点であった。

この2口の太刀は、刀身全体に錆止めの漆が塗られている。そのため、地金や刃文は不明だが、年号と刀工の居住地が記されており、村正の基準作例と位置づけられる。戦国時代の桑名における刀工の存在を実証する資料である。また、2口の太刀が奉納刀として同時に制作されたことが分かり、文化史的意味においても重要である。

附の拵はいずれも同意匠で、木製の柄および鞘を、梅花状の四弁花を連続させた錦で包む。鐔は輪宝形とし、石突・貴金・足金物・兜金などの銚金具には鍍金が施され、足金物には春日神社の社紋である「下り藤」が表される。金具の形状や技法から見て、本太刀の装具として、江戸時代後期に制作されたと考えられる。

【銘文】
 太刀①
 (茎部表) 「勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作」
 (茎部裏) 「天文十二年【癸卯】五月日」
 (彫・佩表鎬地) 「春日大明神」
 太刀②
 (茎部表) 「勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作」
 (茎部裏) 「天文十二年【癸卯】五月日」
 (彫・佩表鎬地) 「三崎大明神」
 * 内は割注

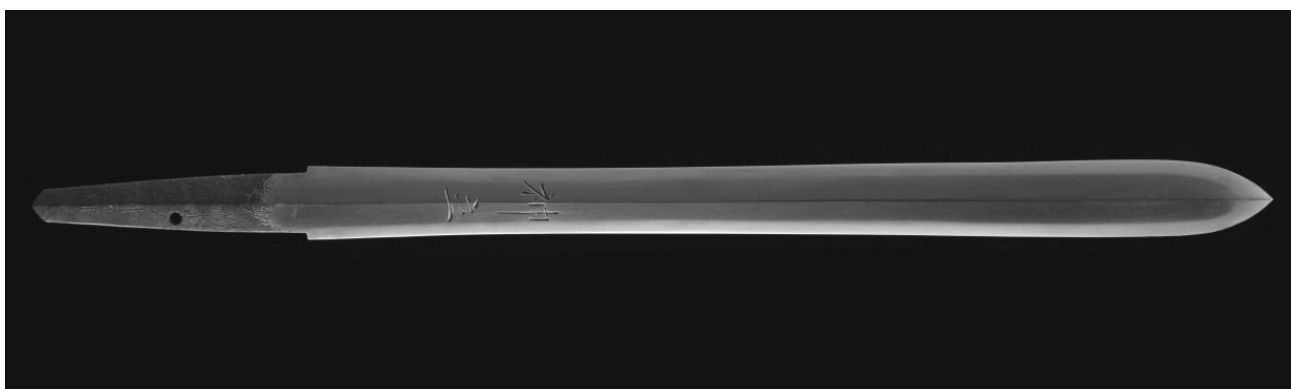
工第 73 号

たち
太刀

けん
劍

2 口

めい 銘 せいしゅうくわなふじわらの あ そんむらまささく てんぶんにしゅうにねんくがつ
勢州桑名藤原朝臣村正作 天文二十二年九月



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号（H28.2.19 発行三重県教育公報号外）

【指定日】平成 28 年 2 月 3 日

【所在地】桑名市京町 37-1 桑名市博物館(寄託)

【所有者】宗教学法人 神館神社

【規模・品質・形状】

①太刀：刃長 60.5cm、反り 1.8cm、元幅 2.7cm、先幅 2.0cm、元重 0.6cm、先重 0.4cm、
鋒長 4.1cm、茎長 14.4cm

形状：鑄造、庵棟、寸の短い太刀で、反りやや浅く、先反りが強く、中^{なかきつさき}鋒少し
延びる。

地金：板目肌、地景入る。

刃文：中直刃、中ほどでわずかにのたれごころがあり、匂口^{においくち}沈み、沸^{にえ}つく。区上^{まち}
2cm ほどのところで焼落とす。

帽子：直ぐに先丸く返る。

茎：生ぶ、鑢目浅い勝手下り、先劍形、目釘孔 1、表裏棟寄りに長銘をきる。

②剣：刃長 39.1cm、反り無し、元幅 3.0cm、先幅 3.2cm、元重 0.9cm、先重 3.0cm、茎長 11.2cm

形状：両^{りょうし}鑄造、中ほどでやや狭まり、横手^{よこて}は無い。

地金：板目肌、流れ肌が交じり、地景入る。

刃文：中直刃、総体にほつれ、喰い違い刃が交じり、表の中ほどに沸^{にえ}がこぼれて二重刃となり、沸荒目につく。

帽子：直ぐに鑄で焼きつめる。

茎：生ぶ、鑢目浅い勝手下り、先剣形、目釘孔 1、表棟寄りに作者銘、裏鑄上に年号をきる。

【年 代】天文 22 年（1553）

銘文に見える村正は伊勢国桑名の刀工で、江戸時代前期に成立した『如手引抄』では美濃国赤坂の刀工兼村の子とする。村正銘の最古のものは文亀元年（1501）で、ほかに永正 10 年（1513）、本作の天文 12 年（1543）、天文 22 年（1553）、天正 4 年（1576）がある。また、これらの年号よりも古いと見られる作もある。そのため、村正は世襲名で、3 代ないしは 4 代おり、文亀頃を 2 代、天文頃を 3 代とみるのが定説である。村正は、隣国美濃の兼定、兼元、備前の勝光、祐定らとともに室町時代後期を代表する名工である。

村正の刀は、江戸時代の軍記物である『柏崎物語』に、徳川將軍家に崇る刀として登場し、「妖刀説」が流布して著名となった。寛政 9 年（1797）に上演され

好評を博した歌舞伎の『青楼詞合鏡』でも、村正の刀は「妖刀」として登場している。

この刀剣を所蔵する神館神社は、伊勢神宮の御厨を示す神館（侍、神侍、かんだち）に由来するという。刀身にある「神立」の彫は、「こうだて」の読みが転訛したものと考えられる。

村正は、美濃の兼定、兼元、備前の勝光、祐定らとともに室町時代後期を代表する名工である。この刀剣には、村正の名とともに年号と居住地が刻まれている。村正の基準作例であり、三重県の工芸史上重要な作品である。

【銘文】
太刀 ①
（茎部表）「勢部兼名藤原朝臣村正作」
（茎部裏）「天文廿二年九月吉日」
（彫・佩表鎬地）「神立」
剣 ②
（茎部表）「勢部兼名藤原朝臣村正作」
（茎部裏）「天文廿二年九月吉日」
（彫・佩表鎬地）「神立」
* / は改行

工第 74 号 たち 太刀

銘 勢州桑名藤原千子正重 寛文元年十二月及び同二年正月 2口



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号 (H28.2.19 発行三重県教育公報号外)

【指定日】平成 28 年 2 月 3 日

【所在地】桑名市京町 37-1 桑名市博物館(寄託)

【所有者】宗教学法人 桑名神社・中臣神社

【規模・品質・形状】

- ① 刃長 75.0cm、反り 2.5cm、元幅 3.5cm、先幅 2.8cm、元重 2.8cm、先重 0.5cm、
鋒長 5.7cm、茎長 20.0cm

形状：鑄造、庵棟、身幅広く反り浅く、中鋒延びる。

地金、刃文、帽子：不明（刀身に漆を塗っているため）

茎：生ぶ、鑢目勝手下り、先は入山形、目釘孔 1、表裏鑄を中心に長銘をきる。

- ② 刃長 75.3cm、反り 2.2cm、元幅 3.4cm、先幅 2.7cm、元重 0.8cm、先重 0.6cm、
鋒長 5.7cm、茎長 18.8cm

形状：鑄造、庵棟、身幅広く反り浅く、中鋒延びる。

地金、刃文、帽子：不明（刀身に漆を塗っているため）

茎：生ぶ、鑢目浅い勝手下り、先は入山形、目釘孔 1、表裏鑄を中心に長銘をきる。

【年 代】①寛文元年（1655） ②寛文 2 年（1656）

銘文に見える正重は伊勢国桑名の刀工で、その初代は村正の子と伝えられている。正重は、室町時代末期から江戸時代まで同名が何代か続いているようだが、年号を記した作品が少なく、代別が難しい。正重の作風は、刃文が表裏揃い、また匂口が沈みこころとなるなど、村正とよく似ている。

「千子」とは村正の系統を示し、「千子派」と呼ばれている。村正を祖とする千子派は、室町時代後期には村正のほか正重、正真らがいる。慶長元年（1596）以降に制作された刀剣は「新刀」として分類されるが、新刀期に村正銘は見られない。村正の刀は、江戸時代の軍記物である『柏崎物語』の記載にあるように、徳川将軍家に崇る刀との認識が流布しており、その

理由によるとの見解もある。千子派の系統は、この太刀銘に見える正重が継続している。この太刀は、銘文から寛文元年と同2年の作で、いわゆる「新刀期」に制作されたものである。

太刀①の彫に見る「貞昌」は、この太刀の寄進者である。氏姓の記載は無い。太刀①が収められている白木の鞘には「奥平貞昌」との記載がある。奥平貞昌の名は他の文献史料では確認できない。また、この鞘は太刀よりも新しい時代のものである。当時の桑名藩主松平定重の家老に奥平貞澄がいる。貞昌と同じ「貞」を通字としているため、貞昌は奥平一族の可能性はあるが、断定はできない。

この刀を所蔵する桑名神社・中臣神社は境内を共有しており、桑名の総鎮守として合わせて「桑名宗社」と呼ばれている。両社とも江戸時代には桑名城主の崇敬が高かった。中臣神社は春日大明神、桑名神社は三崎大明神とも呼ばれている。太刀①・②の刀身表に見える「春日大明神」、太刀①の刀身裏に見える「三崎大明神」の彫は、これに由来すると考えられる。

江戸時代の千子派の作品は極めて少ない。この太刀は、2口とも刀身に漆が塗られているため地金、刃文は不明であるが、年号と刀工の居住地が記されており、正重の基準作例として三重県の工芸史上重要な作品である。

【銘文】

太刀①

(茎部表) 「勢州桑名藤原千子正重」

(茎部裏) 「寛文元年【辛丑】十二月吉日」

(彫・佩部表) 「春日大明神 敬 奉寄進 貞昌」

(彫・佩部裏) 「三崎大明神 敬 奉寄進 貞昌」

太刀②

(茎部表) 「勢州桑名藤原千子正重」

(茎部裏) 「寛文二年壬寅正月三日」

(彫・佩部表) 「春日大明神」

* □ は割注

(3) 天然記念物

天 ジュロウカンアオイ自生地



【告 示】 三重県教育委員会告示第 5 号 (H28.2.19 発行三重県教育公報号外)

【指定日】 平成 28 年 2 月 3 日

【所在地】 尾鷲市九鬼町他

【所有者】 尾鷲市

【現状等】

学名 : *Heterotropa kinoshitae* F.Maek. ex K.Kinos.

形態 : ウマノスズクサ科カンアオイ属の常緑多年草。葉は長卵形～長卵状三角形で、基部は深い心形、長さ 6-9cm、幅 3-6cm。1 シュートに 1～2 枚をつける。萼筒は長い筒状で長さ 13-16mm、幅 7-9mm、中部でややくびれる。萼筒内面の壁は低く隆起し、粗い不整の格子状で、縦壁数は 9 である。萼筒口部のつばはよく発達して小さく開口し、開口部の径は 1.2-1.8mm。花柱は 6、長さ約 4.5mm、附属突起は棒状で深く二裂し、長さ約 1mm。雄蕊^{おしべ}は 12。開花は 2 月。

分布 : 三重県尾鷲市のごく狭い地域に生育が知られるのみの、日本固有種である。

名称 : 種小名の「*kinoshitae*」は発見者である木下慶二への献名。和名の「ジュロウ」は中部でくびれる萼筒を七福神の一人である「寿老人」の頭部に見立てたもの。

本種は1973年に木下慶二が見だし、前川文夫によって1976年に裸名のまま発表され、その後1989年に木下慶二によってその種名が正式に論文として発表されたものである。

本種は、長くてくびれた萼筒形態と、萼筒開口部が極端に小さいことに特徴がある。これは他の日本産カンアオイ属には見られない、特殊な形態である。また、自生地は特定の山の一部斜面に限られている。これは、地域固有種の多いカンアオイ属の中でもとくに高い特異性を有する。これらのことから、植物学上の学術的価値は極めて高い。

日本固有種であることはもちろん、三重県および尾鷲市の固有種であることから、三重県郷土の自然環境を象徴する文化財的価値も非常に高いと考えられる。

本種は、環境省レッドデータブックでは最も絶滅の危険性が高い絶滅危惧IA類（CR）にリストされている。もともとの個体数が非常に少ない絶滅危惧植物であるにもかかわらず、盗掘によって激減し、その希少価値は増している。そのため、このような非常に希少かつ絶滅リスクの高い生物種が存在することを認識し保護することは、郷土の自然や生物に対する県民の意識を高めることにも寄与するものと考えられる。

ジュロウカンアオイは三重県を特徴付ける固有種である。そして、その自生地は限定されている。以上のことから、自生地を天然記念物として指定し、積極的な保護による絶滅の回避を行うことで本種の持つ価値の保全と継承に努めることが必要である。

2 県指定文化財の解除

種別	名称	所有者	解除日	理由
有形文化財（工芸品）	鐔拓本集 中村覚太夫編	個人	H28.2.3	県外流出

3 国登録文化財の登録等

(1) 有形文化財（建造物）の登録

24-0202～203 丸岡家住宅主屋・長屋門及び築地塀

2棟

登録日：平成27年8月4日

所在地：伊勢市宮町一丁目115

所有者：個人

建築年代：慶応2年（1866）

登録基準：主屋…（二）造形の規範となる

主屋以外…（一）国土の歴史的景観に寄与する

概要：全国から訪れる伊勢神宮の参詣客に宿を提供したり、祈祷を行ったりする御師（おんし）であった丸岡宗大夫の住宅である。街路に面して長屋門と築地塀をめぐらし、その奥に木造平屋建の主屋を構える。主屋玄関には式台を設け、格調高い趣で客をもてなした。漆喰塗の長屋門と築地塀も、往時をしのぶ外観となっている。伊勢市内に現存する数少ない御師の住宅として、貴重な建物である。



24-0204～206 小西萬金丹本舗店舗兼主屋・内蔵・外蔵

3棟

登録日：平成27年8月4日

所在地：伊勢市八日市場町8ほか

所有者：個人

建築年代：主屋・内蔵：明治前期、
外蔵：安永8年（1779）

登録基準：（一）国土の歴史的景観に寄与する

概要：伊勢神宮外宮の門前にある、延宝4年（1676）創業の薬舗である。明治前期に建てられた木造2階建の主屋は、山田の町を代表する町屋で、中廊下に接して「みせ」や「だいどころ」といった居室や階段を配する間取りとなっている。明治期に建てられた伊勢の町屋建築として貴重な建物であり、伊勢神宮外宮門前の景観を構成する建物である。



24-0207～215 見世土井家住宅主屋・本蔵・蔵・納屋・米蔵・便所・井戸屋形

正門及び塀・北通用門及び土塀

8棟・1基

登録日：平成27年8月4日

所在地：尾鷲市朝日町72ほか

所有者：個人

建築年代：主屋：昭和6年、本蔵：江戸末期、
蔵・納屋・北通用門及び土塀：大正期、
米蔵・外便所・井戸屋形・

正門及び塀：昭和前期

登録基準：主屋：造形の規範となる

主屋以外：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：土井家は屋号「見世」をもつ、山林経営や生活用品販売を家業とする旧家である。当時の熊野街道沿いの正門を入ると、木造2階建の主屋があり、その北西に井戸屋形を囲うように本蔵・蔵等が立ち並ぶ。昭和6年に建てられた主屋は、東側に洋館、西側に和風の居宅をつなげた構成となっている。洋館部分は、細部の意匠にアールデコのデザインを用い、1階・2階の窓にはステンドグラスが取り入れられ、外観のアクセントとなっており、数寄屋風の座敷を並べた居宅部分からは主庭が一望できるようになっている。本蔵や蔵といった付属建物もまともに残り、往時の山林経営家の風情あるたたずまいを残す建物群である。



24-0216～219 旧杉本家住宅主屋・離れ座敷・長屋・長屋門

4棟

登録日：平成27年11月17日

所在地：津市白山町八対野1000

所有者：個人

建築年代：主屋：明治前期／明治30年代移築、

離れ座敷：明治26年頃／昭和10年改修、

長屋：明治38年頃／昭和30年頃移築、

長屋門：明治前期／明治12年頃移築・平成23年改修

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：杉本家は、津市白山町八対野に位置し、農業・林業を営む傍ら、明治期には八ツ山村の村長を務めていた。敷地内には住居である主屋のほか、茶事等の社交の場となった離れ座敷、長屋等が表の庭を囲むように立ち並んでいる。こうした屋敷構えは、当地域における明治期の裕福な農家の住居の在り方をよく示している。



24-0220～226 旧平田家住宅主屋・書院・米蔵・東蔵・西蔵・門柱・
中門及び堀

6棟・1基

登録日：平成27年11月17日
所在地：四日市市千代田町941
所有者：個人
建築年代：主屋：明治3年頃／大正10年頃改修、
書院：明治17年頃、
米蔵：明治20年頃／大正3年改修、
東蔵・西蔵：大正、門柱：大正12年頃、
中門及び堀：明治18年頃



登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：平田家は、江戸末期から庄屋を務め、その後八郷村村長等を務めた旧家である。大正期に建てられた石造の門を入ると、敷地の中央に主屋、中門で区切った西側に書院と庭園、主屋の背後に蔵等が立ち並ぶ。明治3年(1870)に建てられた主屋は木造平屋建で、当時最新の設備であった電話室が備えられている。いずれの建物も当時の外観や内装がよく残っており、明治から大正期における当地域の名士の屋敷構えを伝える建物群である。

24-0227 中井家住宅主屋

1棟

登録日：平成27年11月17日
所在地：名張市元町452
所有者：個人
建築年代：昭和7年／昭和40年改修

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：中井家住宅は昭和7年(1932)に耳鼻咽喉科医院として建築された木造2階建の建物である。ペンキ塗りの下見板と欄間付の引違窓を交互に配し、1階窓と2階窓の間に飾り木組みをあしらって外観に変化を持たせている。昭和6年(1931)に建てられた旧参宮鉄道(現：近鉄)名張駅舎とよく似た造りの建物で、建築された当時の外観、内装が良好に残る。平成20年に国登録有形文化財となった「川地写真館」とともに、名張市内に残る大正から昭和初期の数少ない洋風建築である。



24-0228 旧多気郡役所六角堂

1 棟

登録日：平成 27 年 11 月 17 日

所在地：多気郡多気町相可字枇杷ヶ谷 1580-2

所有者：多気町

建築年代：大正 4 年頃／昭和 53 年移築

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：明治 12 年（1879）に開庁した旧多気郡役所敷地内に、大正初期に大正天皇の即位記念として建築されたと考えられる。当初は物産陳列所、その後、各種団体事務所や多気町役場として使用されていた。役場が昭和 53 年に現在地に移転した際に移築され、現在は「郷土史料館」となっている。木造平屋建てで、平面的に正方形の正面隅を切った変則的な六角形を呈し、下見板張り、連窓が特徴の建物で、内部は天井が高く窓の多い、明るい空間となっている。町村合併や役場移転等の行政制度の変遷にもかかわらず、移築され「六角堂」と呼ばれ、地域に親しまれる建物である。



24-0229・230 片山寺本堂・土蔵

2 棟

登録日：平成 27 年 11 月 17 日

所在地：度会郡南伊勢町阿曾浦 16

所有者：宗教法人 片山寺

建築年代：本堂…延宝 5 年（1677）/大正前期・平成 2 年改修、

土蔵…文化 4 年（1807）

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：南伊勢町阿曾浦にある文明 16 年（1484）開基、明暦元年（1655）に再興の臨済宗妙心寺派の寺院で、本堂は延宝 5 年に庫裏とともに建立されたと伝えられる。背後に山、眼前に海が迫る風光明媚な場所にあり、敷地の中央に本堂、西北に土蔵を配する。本堂は木造平屋建ての建物で、中央の仏間の両脇に 2 列 2 室の座敷を配置した、臨済宗本堂としての様式を忠実に守った建物である。土蔵とともに地方における近世臨済宗寺院の様式を伝えている。



24-0231 料理旅館梅家

1 棟

登録日：平成 28 年 2 月 25 日

所在地：伊賀市平田 374

所有者：個人

建築年代：明治後期／大正 8 年改修

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：伊賀街道平田宿にある明治期創業の料理旅館。正面の欄間付縦格子が特徴の木造 2 階建ての建物で、屋根には天女や鷹等が装飾された鬼瓦が葺かれ、訪れる人々の目を楽しませている。玄関を入ると、左手に縦格子を通して、街道の往來を眺められる座敷や家人の住居、右手の土間を通じ別建物の客室へとつながる。現在は「三重県まちかど博物館」として認定され、津と伊賀上野城下を結ぶ伊賀街道宿場町の風情を伝える貴重な建物である。



(2) 登録有形民俗文化財の登録

志摩半島の生産用具及び関連資料 3,828点(生産用具 3,701点、関連資料 127点)

登録日：平成28年3月2日

所在地：志摩市磯部町迫間・浜島町迫子

(志摩市歴史民俗資料館、迫塩収蔵庫)

所有者：志摩市

概要：志摩半島において、漁撈や農耕などの生業に使用された用具と、船大工や鍛冶屋などの諸職の用具を広域的に収集したもの。英虞湾や的矢湾などリアス式海岸が発達した湾内の「内海」でのイワシやボラ、ナマコなどを対象とした網漁、真珠や海苔などの養殖、鰹節加工やきんこ（ナマコ加工品）作り、外洋に面した「表海」での海女漁や鰹漁、内陸部における、稲作や畑作、山樵、養蚕や養蜂、それらの活動を支える船大工や桶屋、鍛冶屋、石工や瓦屋等の職人の伝統的な生産活動に用いられた各種の用具を中心に構成されている。また、昭和58年まで賢島にあり、日本の真珠養殖の発展に寄与した旧国立真珠研究所の資料も含まれる。昭和55年の私立志摩民俗資料館の開館に向けて、日本観光文化研究所が志摩半島全域から収集した資料群として分類整理したものを中心としており、半島全域の生産活動を伝える内容となっている。とくに、漁撈用具が充実しており、真珠養殖などこの地域の近代以降の産業の特色も示す資料群であり、周囲を海に囲まれ、半島部の多い我が国の生業の変遷や地域差を考えるうえで注目される資料である。



(2) 登録有形文化財（建造物）の抹消

名称	所有者	抹消日	理由
北村酒造店舗兼主屋	セルスター工業株式会社	H27.4.16	解体除却
北村酒造旧酒蔵酒母室	セルスター工業株式会社	H27.4.16	解体除却
北村酒造表門	セルスター工業株式会社	H27.4.16	解体除却

4 市町指定文化財の指定等

(1) 指定

市町	種別	名称	所在地	所有者	指定日
度会町	記念物（史跡）	一之瀬城東の城跡・西の城跡	度会郡度会町脇出地内	個人	H27.4.20
紀宝町	有形文化財（彫刻）	木造聖観音立像（井田観音像）	南牟婁郡紀宝町井田	個人	H27.6.1
	無形民俗文化財	井田ほうき踊り	南牟婁郡紀宝町井田	井田ほうき踊り保存会	H27.6.1
鈴鹿市	有形文化財（彫刻）	木造深沙大将立像	鈴鹿市稻生西2丁目	宗教法人神宮寺	H27.8.12
伊賀市	有形文化財（絵画）	春日鹿曼荼羅	伊賀市	個人	H28.3.24
	有形文化財（彫刻）	射手神社（旧仏性寺）地藏石仏	伊賀市長田	射手神社	H28.3.24
	有形文化財（彫刻）	大光寺桐之木谷地藏坐像磨崖仏	伊賀市寺田	大光寺	H28.3.24
度会町	記念物（史跡）	立岡城跡	度会郡度会町立岡地内	個人	H28.3.23
明和町	記念物（史跡）	陸軍第七通信連隊一二八部隊 防空壕	三重県多気郡明和町 斎宮字北野	個人	H28.3.23
		小金古墳群 3号墳	三重県多気郡明和町 池村字小金	明和町	H28.3.23
津市	有形文化財（書跡）	紺紙金銀字千手陀羅尼經	津市大門	大宝院	H28.3.25
		紺紙金字妙法蓮華經			
	有形文化財（絵画）	絹本着色 職貢図			
		絹本着色 釈迦十六善神像			
		絹本着色 尊勝曼荼羅図			
		絹本着色 五大尊像			
		絹本着色 不動明王像			
絹本着色 高野四社明神像					
桑名市	有形文化財（古文書）	伊東富太郎家日記ならびに関連資料	三重県桑名市多度町多度	桑名市	H28.3.30
		旧多度町議会関係資料	三重県桑名市多度町多度	桑名市議会	H28.3.30

(2) 解除

市町	種別	名称	所在地	所有者	解除日
松阪市	記念物（史跡）	松阪商人 長谷川次治郎兵衛家旧宅	松阪市魚町	松阪市	H27.3.5
	有形文化財（古文書）	佐藤家系図		個人	H27.3.18
尾鷲市	記念物（天然記念物）	ジュロウカンアオイ自生地	尾鷲市内	尾鷲市	H28.2.3
桑名市	有形文化財（絵画）	絹本着色 仏涅槃図	桑名市伝馬町	宗教法人十念寺	H28.3.30
	有形文化財（工芸品）	刀 銘 勢州桑名藤原朝臣村正作	三重県桑名市京町 37-1	神館神社	H28.3.30
		太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作	三重県桑名市京町 37-1	桑名・中臣神社	H28.3.30
		太刀 銘 勢州桑名藤原千子正重	三重県桑名市京町 37-1	桑名・中臣神社	H28.3.30

5 三重県文化財保護審議会

(1) 審議会委員（任期：平成26年9月24日～平成28年9月23日）

氏名	担当分野	所属
菅原 洋一	建造物	三重大学教授
林 良彦	建造物	奈良文化財研究所文化遺産部長
梶谷 亮治	絵画・工芸	奈良国立博物館名誉館員
日高 薫	絵画・工芸	国立歴史民俗博物館教授
関根 俊一	絵画・工芸	奈良大学教授
伊東 史朗	彫刻	和歌山県立博物館長
松岡 久美子	彫刻	龍谷大学龍谷ミュージアム講師
岡野 友彦	文書	皇學館大学教授
岡嶋 偉久子	典籍・文書	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
櫻井 治男	民俗	皇學館大学特別教授
古家 信平	民俗	筑波大学教授
鬼頭 秀明	民俗	中京大学非常勤講師
千田 嘉博	史跡・考古	奈良大学学長
坂井 秀弥	史跡・考古	奈良大学教授
森 勇一	地学	金城学院大学講師
藤井 伸二	植物	人間環境大学准教授
向井 譲	植物	岐阜大学教授
森 誠一	動物	岐阜経済大学教授
藤澤 典彦	石造文化財	大阪大谷大学非常勤講師

(2) 審議会

第1回	日時	平成27年7月31日（金）13時30分～16時30分
	場所	三重県栄町庁舎 第41会議室（三重県津市）
	内容	○報告 平成27年度文化財保護事業について、国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 ○審議 平成27年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
第2回	日時	平成27年12月25日（金）13時30分～16時30分
	場所	三重県庁7階 教育委員室（三重県津市広明町13）
	内容	○報告 国指定等文化財の指定等について、国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 ○審議 平成27年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について 平成27年度三重県指定候補文化財の調査報告 平成27年度三重県指定候補文化財の指定について ○答申 平成27年度三重県指定文化財の指定等の答申

II 県実施の調査・保護事業

1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業

【事業費 5,031 千円（国 2/3 3,245 千円、県 1,537 千円）】

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね 8 年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成27年度は、奈良県教育委員会と合同で実施した。業務の効率化等を図るため、関係 2 県の中から幹事県（三重県）を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議等の運営に関する事務を一括している。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授）、山野直也（元日本カモシカセンター職員） 高柳敦（京都大学大学院講師）、山倉拓夫（大阪市立大学教授） 山本陽一（奈良県森林組合連合会会長）、本庄眞（明日香村立明日香小学校教諭）			
現地調査員	松 阪 市	今西隆次・河合信行	紀北町紀伊長島区	玉津直人・宮坂幸治郎
	大 台 町	宮原司・谷口文吾	紀 北 町 海 山 区	川端将文・堀内俊明
	尾 鷲 市	吉澤映之・吉澤重之	奈 良 県	6名
連絡会議	開 催 日	平成27年6月22日（月）	場 所	橿原考古学研究所
		平成27年8月26日（水）		大台町役場
指導委員会議	開 催 日	平成27年7月6日（月）	場 所	橿原考古学研究所
		平成28年3月14日（月）		橿原考古学研究所

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域特別調査

おおむね 8 年に一度、カモシカの生息状況や生息環境を把握し、過去の特別調査結果との比較を行い、保護対策を検討するため実施する特別調査である。平成27年度は滋賀県教育委員会と合同で実施した。業務の効率化等を図るため、関係 2 県の中から幹事県（三重県）を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議等の運営に関する事務を一括している。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授）、山野直也（元日本カモシカセンター職員） 高柳敦（京都大学大学院講師）、村上興正（京都精華大学非常勤講師）		
調査委託	三重県森林組合連合会		
指導委員会議	開 催 日	平成27年5月25日（月）、9月25日（金）、平成28年2月26日（金）	
	場 所	三重県庁、三重県津庁舎	

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。平成27年度は宮城県（南奥羽山系カモシカ保護地域）で開催された。

開催日	平成27年10月8日（木）・9日（金）	会 場	宮城蔵王ロイヤルホテル （宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字鬼石原1-1）
参加者	富田靖男、武田明正、高柳敦、山倉拓夫、本庄眞、村上興正、藤原良幸		

2 世界に誇る三重の文化財記録事業【事業費 3,652千円(県 3,652千円)】

(1) 海女習俗映像記録作成事業

「鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術」について、現段階での民俗技術の状況の映像を、記録として残し、次世代の人々に伝えていくため、民俗文化財としての価値を正確に伝えられる映像記録を作成した。

制作委員	植木行宣(前三重県文化財保護審議会委員)・櫻井治男(皇學館大学教授) 古家信平(筑波大学教授)・小島孝夫(成城大学教授)・野村史隆(鳥羽市教育委員会)
制作委託	三重テレビエタープライズ株式会社

(2) 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展 ~Ama techniques,traditional woman-free-diving fishing~

三重・石川・福井3県の海女漁及び関連する習俗について、各県で調査した結果やその魅力などをパネル等により共同展示し、一般県民等に、3県における海女漁の共通性や独自性などを含めた形で紹介することにより、海女漁の認知度向上を図るとともに、その重要性をアピールした。

開催期間	展示場所
平成27年11月17日~同23日	石川県庁
平成27年11月25日~同29日	輪島市文化会館
平成27年12月7日~同18日	坂井市役所
平成27年12月21日~同24日	福井県庁
平成28年1月7日~同17日	三重県立図書館
平成28年1月25日~同29日	松阪市役所
平成28年2月20日~同28日	ハイトピア伊賀
平成28年2月10日~同13日	三重テラス

3 世界遺産熊野古道保存管理事業【事業費 353千円(県 353千円)】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(平成16.7.7登録)の良好な保全管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金 220千円】

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』(以下、三県協議会という)は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県(商工観光労働部観光振興課)に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長 鈴木英敬(三重県知事)

委員 山口千代己(三重県教育委員会教育長)、河上敢二(熊野市長)、
安部正美(紀北町教育委員会教育長)

監事 長谷川耕一(三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長、~H27.6.30)
中嶋中(三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長、H27.7.1~)

② 三県協議会

○総会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン(大阪府大阪市天王寺区)

開催日時 平成27年6月2日(火)14:00~15:00

議事内容 平成26年度の事業報告・決算・監査報告、平成27年度事業計画・予算案

事業計画 保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催運営、普及啓発活動(「紀伊山地の参詣道ルール」の周知)、シンボルマークの利用促進、「参詣道の適切な活用指針」策定

○会議

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
開催日時 平成27年12月1日（火）14:00～15:30
議事内容 軽微な変更申請及び保存管理計画の改訂

③ 三県協議会専門委員会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
開催日時 平成27年11月30日（月）13:30～16:30
議事内容 ・軽微な変更申請について（共通）
・参詣道における適切な活用について（共通）
・構成資産復旧工事の集成（H23台風12号被害の復旧状況）について（共通）
出席委員 小野健吉（奈良文化財研究所副所長）
櫻井敏雄（（公財）和歌山県文化財センター理事長）
高須英樹（和歌山県立自然博物館長）
西村幸夫（東京大学先端科学技術研究センター所長）
速水亨（速水林業代表）
増井正哉（京都大学教授）

④ 第3回 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

開催地 太鼓判 花夢花夢（奈良県吉野郡吉野町吉野山）
総本山金峯山寺、吉野山（奈良県吉野郡吉野町吉野山）
開催日 平成27年12月3日（木）・4日（金）
内容 基調講演「世界文化遺産の現状について」 柴 亨輔（文化庁記念物課）
講演1「吉野山の桜の保全～吉野山桜の学校の取組み～」 池田淳（吉野町教育委員会）
講演2「熊野参詣道伊勢路の保存と活用について」 川部浩司（三重県教育委員会）
講演3「軽微な変更申請の概要について」 藤井幸司（和歌山県教育庁）

⑤ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出

受理件数：2件

(2) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会

紀伊半島には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとして、豊かな歴史・文化・自然資源があり、紀伊半島の観光振興と地域活性化を図るためには、三重県、奈良県、和歌山県が広域的に連携し、これらの資源の積極的な活用に共同で取り組む必要があることから、平成22年7月に「吉野・熊野・高野の国」が建国された。事業実行委員会は、3県の観光、地域振興、文化財部局等により構成されている。

委員会においては、文化財保護の観点から、適切な活用が促進されるよう提言している。

(3) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時 平成27年7月3日（金）、平成28年2月8日（月） 13:30～15:30
場 所 県尾鷲庁舎、熊野庁舎
内 容 世界遺産熊野参詣道の保全にかかる課題

② 世界遺産セミナー（熊野古道協働会議と共催）

開催日時 平成28年2月14日（日） 13:00～16:30

場 所 三重県立熊野古道センター（尾鷲市向井）

内 容 講演「奈良県の世界遺産の取組について」小池香津江（奈良県地域振興部）
パネルディスカッション「地域の価値を高める」

コーディネーター 櫻井治男、パネリスト 小池香津江・速水亨・西尾寛明

(4) 世界遺産関係都道府県主管課長会議

世界遺産の保存・継承を主目的に、平成11年度から構成資産を擁する都道府県の共催で開催されている。

開催日時 平成27年10月6日（火）14:00～17:00、7日（水）9:15～12:00

開催地 東京都庁（東京都新宿区西新宿）、上野公園（東京都台東区上野公園）

情報提供 世界遺産に係る最近の動向や取組などについて（外務省、内閣官房、文化庁、林野庁）

協議 世界遺産条約締結25周年記念事業について（兵庫県）

4 史 県内遺跡 発掘調査等事業

【事業費 20,780 千円（国 1/2 10,390 千円・県 1/2 10,390 千円）】

(1) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 5,062 千円（国 1/2 2,531 千円・県 1/2 2,531 千円）】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

（県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査）

遺 跡 名	所 在 地	原 因	期 間	面積㎡	主要遺構、遺物
朝見遺跡	松阪市立田町・和屋町	高度水利機能確保基盤整備事業	H27.5.12～ H28.2.23	8,545	埋設土器 3 基、溝 1 条、掘立柱建物 21 棟、木棺墓 1 基、土坑 38 基、井戸 20 基、溝及び旧流路複数 縄文土器・石器、弥生土器、土師器・須恵器・陶器・土製品・金属製品・木製品・瓦等
起 B 遺跡	鈴鹿市安塚町	農地整備事業（経営体形成型）	H27.10.28 ～ H28.1.11	212	野井戸 2 基
起 C 遺跡	鈴鹿市安塚町	農地整備事業（経営体形成型）	H27.10.28 ～ H28.1.11	68.8	なし
山見遺跡	多気郡多気町下出江字山見	高度水利機能確保基盤整備事業	H27.9.18～ H28.1.22	779	掘立柱建物、土坑、溝、ピット 土師器、陶磁器、土錘
新神馬場遺跡	多気郡多気町下出江字中切・山神戸・脇瀬	高度水利機能確保基盤整備事業	H27.9.18～ H28.1.22	206.9	土坑、溝、ピット 土師器、陶磁器、土錘
中切遺跡	多気郡多気町下出江字中切・山神戸・脇瀬	高度水利機能確保基盤整備事業	H27.9.18～ H28.1.22	211.1	
奥の浦遺跡ほか				170	範囲確認調査
計				10,193	

- (2) 埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 898 千円（国 1/2 449 千円、県 1/2 449 千円）】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成 27 年度は、合計 20 点の鉄鏃（長頸鏃）の保存処理を実施。（処理受託 公益財団法人元興寺文化財研究所）

- (3) 国史跡齋宮跡発掘調査【事業費 14,820 千円（国 1/2 7,410 千円・県 1/2 7,410 千円）】

国史跡齋宮跡解明のために、史跡東部にある方格地割のうち、下園東区画の実態を解明するための調査として、536 m²の計画調査（第 186 次）を実施した。詳細は齋宮歴博物館年報を参照されたい。

5 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

【事業費 2,200 千円（国 1/2 1,100 千円・県 1/2 1,100 千円）】

埋蔵文化財を題材とした教材を製作し、主に子どもたちを対象に学校等への出前講座や体験事業を実施して活用し、埋蔵文化財を通じた地域に根差した人材の育成や地域の魅力を引き出すことを目指した。

6 史 齋宮跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業

【事業費 346,880 千円（国 1/2 173,440 千円・県 1/2 173,440 千円）】

平成21年度に作成した「史跡齋宮跡東部整備基本計画書」に基づき、平安時代の齋宮寮の寮庁の一画だったと考えられる柳原区画とその周辺部の整備事業を実施する。平成27年度は史跡東部柳原区画における、復元建物3棟の建築工事、古代伊勢道整備工事、復元建物建築工事現場公開等の普及公開事業、史跡整備報告書作成を行った。

7 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,040 千円（国 1/2 1,020 千円・県 1/2 1,020 千円）】

齋宮跡出土品について保存修理を行う。平成27年度は、緑釉陶器 1 点、墨書土器 6 点、土馬 1 点の解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、台座作成を行った。
修理委託 株式会社 吉田生物研究所

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか 5 棟建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	2,540,290,300	総事業期間	H22-33
H27 度事業額	236,930,000	国補助額	201,390,000	県補助額	17,769,000
事業内容	主屋ほか 5 棟の解体・半解体工事。 H27 度：広間棟…屋根工事・木工事・左官工事、玄関及び座敷棟…屋根工事・木工事・構造補強工事、洋館棟…仮設工事・木工事・屋根工事、玉突場…基礎工事・木工事・構造補強工事、発掘調査				
備考	設計監理：(公財) 文化財建造物保存技術協会、工事請負：(株) 竹中工務店三重営業所				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか 5 棟文化財建造物等活用地域活性化		
所在市町	桑名市	総事業費	7,111,720	総事業期間	H26-27
H27 度事業額	3,555,860	国補助額	2,133,000	県補助額	355,000
事業内容	保存活用計画策定				
備考	策定委員：尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、伊藤茂一（桑名市教育委員会教育長） 菅原洋一（三重大学教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）、 麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、花里利一（三重大学教授） 指導委員会：平成 27 年 11 月 18 日、平成 28 年 2 月 9 日 委託：(公財) 文化財建造物保存技術協会				

事業者	宗教法人 神宮	事業名	重文 神宮祭主職舎本館（旧慶光院客殿） 建造物保存修理		
所在市町	伊勢市	総事業費	65,146,000	総事業期間	H27-28
H27 度事業額	37,527,000	国補助額	18,763,000	県補助額	3,752,000
事業内容	本館及び車寄せの修理				
備考	設計監理：(公財) 文化財建造物保存技術協会、工事請負：(株) 廣垣工務店				

事業者	伊賀市	事業名	重文 俳聖殿 建造物防災施設等		
総事業費	87,900,400	総事業期間	H27-H28		
事業額	H	49,532,000	24,766,000	3,467,000	
緑	27				
越	額	28,332,000	14,166,000	1,983,000	
額					
事業内容	消火設備、炎感知器、防犯カメラ、避雷設備設置				
備考	工事請負：ニッタン(株)、設計委託：永田設計事務所				

事業者	朝日町	事業名	登録 朝日町資料館（旧朝日村役場）文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	51,052,110	総事業期間	H26-28		
H27 度事業額	3,420,008	国補助額	1,710,000	県補助額	239,000
事業内容	耐震補強工事実施設計				
備考	指導：菅原洋一（三重大学）、嶋村明彦（三重県文化財保護指導委員） 委託：（株）文化財構造計画、（株）継承社				

事業者	津市	事業名	登録 旧明村役場庁舎文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	50,895,000	総事業期間	H26-29		
H27 度事業額	3,641,770	国補助額	1,820,000	県補助額	364,000
事業内容	保存活用計画策定				
備考	策定委員：菅原洋一（三重大学） 委託：（株）文化財構造計画、（株）都市環境研究所				

事業者	鳥羽市	事業名	登録 旧鳥羽小学校校舎文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	629,364,000	総事業期間	H26-31		
H27 度事業額	6,639,340	国補助額	4,315,000	県補助額	663,000
事業内容	耐震補強工事基本設計				
備考	委託：（株）藤川設計、技術指導：（株）文化財構造計画、				

（2）美術工芸品

事業者	亀山市	事業名	田中稻造家資料亀山市域近世近代 史料調査		
総事業費	57,472,000	総事業期間	H27-42		
H27 度事業額	3,369,637	国補助額	1,684,000	県補助額	235,000
事業内容	閑宿の商家の一つである田中稻造家伝来の史資料の悉皆調査。平成 27 年度は、専門委員会の指導のもと月 2～3 回調査を実施し、文書約 1,800 点、民俗資料約 200 件について、調査項目のデジタルデータ化及び整理・目録化を行った。				
備考	専門委員：谷口昭（名城大学教授）、伊藤俊一（名城大学教授）、富田靖男（元三重県立博物館長）、藤原寛（元三重県立博物館長） 専門委員会：平成 28 年 3 月 16 日				

事業者	松阪市	事業名	長谷川家資料 史料調査		
総事業費	21,800,000	総事業期間	H25-29		
H27度事業額	4,190,000	国補助額	2,095,000	県補助額	293,000
事業内容	第2次調査（第1次調査で残った文書・書籍類に加え、美術工芸品や生活道具類の調査・目録化）を行う。平成27年度は、指導委員会の指導のもと2回調査を実施し、文書約6,600点、書籍約340点、生活道具約980件について、調査カード化及びカードをもとに整理・目録化を行った。				
備考	指導委員：下村登良男（松阪市文化財保護審議会会長）、門暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）、高倉一紀（皇學館大学教授）、塚本明（三重大学教授）、茂木陽一（三重短期大学教授）、中谷真弓（松阪市文化財保護審議会委員） 指導補助員：藤原寛（元三重県立博物館長） 調査委員会：平成27年4月22日				

事業者	宗教法人 専修寺	事業名	重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	55,001,000	総事業期間	H21-35
H27度事業額	3,562,664	国補助額	1,781,000	県補助額	356,000
事業内容	専修寺聖教82点のうち、「観経序分義卷第二」・「皇太子聖徳奉賛」・「四十八大願」・「入出二門偈頌文」・「如来二種廻向文」・「善導和尚言」・「念仏者疑問」・「三部経大意」・「法然上人御消息」・「弥陀経義集」・「大阿弥陀経卷上」・「大阿弥陀経卷下」・「延書選択本願念仏集卷下本」・「延書選択本願念仏集卷下末」14点の修理				
備考	委託先：(株)松鶴堂				

事業者	松阪市	事業名	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理		
総事業費	33,062,000	総事業期間	H25-29		
H27度事業額	5,076,000	国補助額	2,538,000	県補助額	355,000
事業内容	松浦武四郎関係資料1,505点のうち、「古鈴図」・「稲図」・「大台山頂眺望図」・「山本杉芽書簡」4点の修理。				
備考	委託先：(株)坂田墨珠堂				

事業者	宗教法人 観音寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来坐像 美術工芸品防災施設		
所在市町	伊賀市	総事業費	368,008	総事業期間	H27
H26度事業額	368,008	国補助額	202,000	県補助額	36,000
事業内容	非常通報装置、赤外線センサー、熱感知器等防犯システム設置				
備考	工事請負：(株)安全警備				

事業者	宗教法人 八代神社	事業名	重文 伊勢神島祭祀遺物美術工芸品保存活用整備		
所在市町	鳥羽市	総事業費	6,234,000	総事業期間	H27
H26 度事業額	6,234,000	国補助額	4,675,000	県補助額	623,000
事業内容	重要文化財を収蔵している収蔵庫の改修				
備考	工事請負：ダイワ建工(株)				

(3) 無形文化財

事業者	伊勢型紙技術保存会	事業名	重無 伊勢型紙無形文化財（伝承）団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	207,200,000	総事業期間	H5-
H27 度事業額	11,600,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。				
備考					

(4) 民俗文化財

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	34,468,000	総事業期間	H24-29
H27 度事業額	6,100,580	国補助額	3,035,000	県補助額	485,000
事業内容	片町祭車の本楽用天幕の復元新調を行った。				
備考	指導委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 鬼頭秀明（中京大学非常勤講師）、水野耕嗣、村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、 藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長） 工事請負：(株) 川島織物セルコン 保存伝承委員会：平成 27 年 7 月 6 日、10 月 9 日、平成 28 年 3 月 18 日				

事業者	上野新町自治会	事業名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財 伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費	16,349,000	総事業期間	H25-27
H27 度事業額	5,032,549	国補助額	2,515,000	県補助額	503,000
事業内容	上野新町楼車の見送幕・飾り房の復元新調				
備考	審議会委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、久保智康 藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長） 審議会・監修会議：平成 27 年 6 月 8 日、9 月 29 日、平成 28 年 1 月 19 日、3 月 11 日 工事請負：(株) 龍村美術織物				

(5) 記念物

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	358,036,000	総事業期間	H24-29		
H27度事業額	52,593,396	国補助額	25,745,000	県補助額	4,006,000
事業内容	史跡整備として、遺構整備・ガイダンス施設の設置等を行う。 H27度はガイダンス施設展示造作、遺構表示等保存整備を行った。				
備考	<p>検討委員：山中章（三重大学名誉教授）、黒崎直（富山大学名誉教授）、 岡田登（皇學館大学教授）、伊藤久嗣（四日市市文化財保護審議会委員）、 箱崎和久（奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長） 中川ゆかり（羽衣国際大学教授）、古市立美（久留倍遺跡運営委員会会長）、 中森ゆき子（四日市市文化振興に関する市民会議委員）</p> <p>検討委員会：平成 27 年 8 月 10 日、10 月 14 日 業務委託：ガイダンス施設展示造作委託…（有）プラネット 説明板製作設置委託…(株)イトウ総業、保存整備…三岐通運(株)</p>				

事業者	鈴鹿市	事業名	史 伊勢国分寺跡歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	411,876,000	総事業期間	H20-30		
H27度事業額	32,530,000	国補助額	16,265,000	県補助額	2,277,000
事業内容	遺構表示（築地）・説明サインの設置等の整備、遺構明示兼休憩施設（四阿）の実施設計				
備考	<p>検討委員：伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、加藤二三子（元鈴鹿市青少年育成市民会議会長）、 桐生明光（前国分町自治会長）、桐生悦夫（元元曲地区青少年育成町民会議会長）、 中島義晴（奈良文化財研究所）、箱崎和久（奈良文化財研究所）、八賀晋（三重大学名誉教授）、 林紘（鈴鹿市考古博物館サポート会会長）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授）</p> <p>工事請負：(株)トータルプランニング</p>				

事業者	松阪市	事業名	史 松坂城跡歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	548,690,000	総事業期間	H26-35		
H27度事業額	11,370,000	国補助額	5,685,000	県補助額	795,000
事業内容	石垣の調査、測量、発掘				
備考	委託業者：(株)空間文化開発機構、中日本航空(株)、				

事業者	伊賀市	事業名	史 上野城跡 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	197,650,000	総事業期間	H14-28		
H27度事業額	11,250,190	国補助額	5,625,000	県補助額	787,000
事業内容	城代屋敷地の遺構整備				
備考	指導委員：八賀晋（三重大学名誉教授）、増淵徹（京都橘大学教授）、高瀬要一（奈良文化財研究所部長）、 菅原洋一（三重大学教授）				

事業者	伊賀市	事業名	史 旧崇広堂歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
総事業費	48,928,000	総事業期間	H18-28		
H27 度事業額	4,928,000	国補助額	2,464,000	県補助額	344,000
事業内容	土堀修理。H27 度は東土堀及び南土堀の修理、修復剪定、表門展示室防蟻				
備考	指導委員：鈴木嘉吉（元奈良文化財研究所所長）、菅原洋一（三重大学教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所） 工事請負：(株) 中建築工務店 設計監理：一級建築士事務所タック設計室 修復剪定：(株)三進				

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	216,438,000	総事業期間	H23-32		
H27 度事業額	27,018,000	国補助額	21,614,000	県補助額	1,891,000
事業内容	平成 22 年度先行取得した史跡地（18,303.26 m ² ）の経費償還。				
備考					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡史跡等買上げ（直接買上げ）※H26 度繰越分			
総事業費	10,749,421,000	総事業期間	S54-H44			
事業額	H 26 額	161,155,439	国補助額	128,923,000	県補助額	24,173,000
実施額	額	36,112,204				
事業内容	史跡指定範囲の公有地化					
備考	H26 度分の繰越（～H27.9.30 まで期間延長）。					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡史跡等買上げ（直接買上げ）			
総事業費	10,749,421,000	総事業期間	S54-H44			
事業額	H 27 額	211,517,000	国補助額	169,213,000	県補助額	31,727,000
繰越額	額	24,352,684				
事業内容	史跡指定範囲の公有地化					
備考	H26 度分の繰越（～H29.2.28 まで期間延長）。					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	433,474,000	総事業期間	H14-31		
H27 度事業額	52,623,596	国補助額	42,096,000	県補助額	7,892,000
事業内容	平成 19 年度及び 21 年度に先行取得した史跡地の経費償還				
備考	平成 19 年度（5,743 m ² ）及び 21 年度（7,775 m ² ）				

事業者	伊賀市	事業名	史 伊賀国庁跡史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	97,088,000	総事業期間	H22-27		
H27 度事業額	16,439,000	国補助額	13,151,000	県補助額	1,150,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				
備考					

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	名 諸戸氏庭園歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	643,800,000	総事業期間	H20-34
H27 度事業額	53,205,330	国補助額	26,600,000	県補助額	5,320,000
事業内容	庭園の修復整備。H27 年度は護岸修復及び護岸上の景石修理、修復剪定、旧休憩室付近整備、下向写真測量、煉瓦蔵跡・焼却炉試掘及び修理・活用のための実施設計等を行った。				
備考	指導委員：尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、伊藤茂一（桑名市教育委員会教育長） 菅原洋一（三重大学教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）、 麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、花里利一（三重大学教授） 指導委員会：平成 27 年 6 月 17 日、10 月 22 日 業務委託：設計監理…（株）環境事業計画研究所、測量…（株）環境事業計画研究所 試掘調査…（株）文化財サービス 工事請負：修復剪定・護岸修復…植彌加藤造園（株）				

事業者	伊勢市	事業名	名 二見浦歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	279,046,720	総事業期間	H26-27		
H27 度事業額	85,059,720	国補助額	39,111,000	県補助額	6,860,000
事業内容	橋梁改修工事。H27 度：橋梁設置、護岸工事				
備考	工事請負：（株）西山組				

事業者	菰野町	事業名	天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	22,027,536	総事業期間	H27-28		
H26 度事業額	8,491,737	国補助額	4,239,000	県補助額	631,000
事業内容	指定地内外の境界立会を実施し、境界標を設置する。H27 度は指定地北側の境界標を設置した。				
備考	業務委託：公益社団法人 三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会				

事業者	大台町	事業名	特天 カモシカ天然記念物食害対策		
総事業費	906,293,000	総事業期間	S56-		
H27 度事業額	7,419,600	国補助額	4,946,000	県補助額	865,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。2カ所 柵総延長 1124.9m (3.08ha)				
備考	委託先：宮川森林組合				

事業者	尾鷲市	事業名	特天 カモシカ天然記念物食害対策		
総事業費	414,801,000	総事業期間	S58-		
H27 度事業額	3,765,000	国補助額	2,382,000	県補助額	546,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。1カ所 柵総延長 549m (0.42ha)				
備考	委託先：森林組合おわせ				

事業者	紀北町	事業名	特天 カモシカ天然記念物食害対策		
総事業費	374,714,000	総事業期間	S59-		
H27 度事業額	5,697,600	国補助額	3,798,000	県補助額	700,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。4カ所 柵総延長 2,507m (2.98ha)				
備考	委託先：森林組合おわせ				

事業者	いなべ市	事業名	天 ネコギギ天然記念物再生		
総事業費	28,115,000	総事業期間	H18-		
H27 度事業額	2,082,370	国補助額	1,015,000	県補助額	142,000
事業内容	員弁川水系のネコギギ個体群再生のため、生息状況調査ならびに保護増殖を行う。H27 度は市内の生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び方法検討を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、 田代喬（名古屋大学准教授）、里中知之（志摩マリンランド館長） 指導委員会：平成 28 年 3 月 10 日 飼育増殖委託：志摩マリンランド				

事業者	四日市市	事業名	天 御池沼沢植物群落天然記念物再生		
総事業費	18,460,000	総事業期間	H23-28		
H27 度事業額	2,200,046	国補助額	1,100,000	県補助額	154,000
事業内容	東部指定地内観察路柵板修理、環境改善のための除草・樹木伐採・除根、竹林伐採、浚渫				
備考	指導委員：石田昇三（学識経験者）、武田明正（三重大学名誉教授）、桐生定巳（学識経験者）、加田勝敏（学識経験者） 委託業者：北村建設（有）、藤谷造園（株）、（有）三杉造園、（株）パレオ・ラボ				

事業者	亀山市	事業名	天 ネコギギ天然記念物再生		
総事業費	6,000,000	総事業期間	H27-29		
H27 度事業額	2,009,550	国補助額	1,000,000	県補助額	140,000
事業内容	鈴鹿川水系のネコギギ生息状況把握を続けながら、地域住民への普及啓発を行い、生息環境の再生につなげていく。H27 度は安楽川のモニタリング及び河川環境調査を実施した。				
備考	指導委員：名越誠（奈良女子大学名誉教授）、森誠一（岐阜経済大学教授）、原田泰志（三重大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：平成 27 年 12 月 21 日 生息調査委託：一般財団法人 三重県環境保全事業団 河川環境調査委託：（株）総合環境計画中部支社				

事業者	桑名市	事業名	天 多度のイヌナシ自生地天然記念物緊急調査		
総事業費	11,763,530	総事業期間	H25-27		
H27 度事業額	2,079,530	国補助額	1,038,000	県補助額	145,000
事業内容	イヌナシ自生地周辺の地形測量及び総合的な環境調査を行う。H27 度は 3 ヶ年の事業総括を行い調査報告書を作成した。				
備考	指導委員：葛山博次（三重県生物多様性保全アドバイザー）、川添護（桑名市文化財保護審議会委員）、向井譲（岐阜大学教授）、水谷雅恒（NPO 法人 多度自然育成の会）、加納昭夫（イヌナシ自生地地権者）、山家和義（森林インストラクター） 指導委員会：平成 27 年 11 月 27 日 総合調査委託：（株）テクノ中部三重事務所				

事業者	名張市	事業名	特天 オオサンショウウオ天然記念物緊急調査		
総事業費	19,284,000	総事業期間	H26-31		
H27度事業額	3,078,267	国補助額	1,538,000	県補助額	215,000
事業内容	赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査と DNA サンプルング調査を行った。また保護飼育のためのプール整備工事を行った。				
備考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員） 栃本武良（日本ハンザキ研究所長）、富田靖男（元三重県立博物館長） 江川紫（日本サンショウウオセンター職員）、松月茂明 指導委員会：平成 27 年 12 月 7 日、平成 28 年 3 月 12 日 生息調査・保護飼育委託：NPO 法人 赤目四十八滝溪谷保勝会、名張市文化遺産活性化実行委員会 プール整備：新興商事(株)、(株)三進ろ過工業				

(6) 埋蔵文化財

事業者	四日市市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	13,290,000	総事業期間	H27-32		
H27度事業額	2,039,558	国補助額	1,010,000	県補助額	235,000
事業内容	市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：2 件 保存処理：木製品 31 点				
備考	保存処理委託：(株)吉田生物研究所				

事業者	鈴鹿市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	67,000,000	総事業期間	H24-33		
H27度事業額	7,000,000	国補助額	3,500,000	県補助額	816,000
事業内容	長者屋敷遺跡第 34 次 市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：30 件				
備考	指導委員：八賀晋（三重大学名誉教授）、川越俊一（奈良文化財研究所名誉研究員）、 伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、金田章裕（人間文化研究機構機構長）、 渡辺寛（皇學館大学名誉教授）、和田勝彦（文化財虫害研究所常務理事）				

事業者	亀山市	事業名	史 市内遺跡発掘調査等		
総事業費	100,005,000	総事業期間	H17-36		
H27度事業額	3,294,000	国補助額	1,647,000	県補助額	384,000
事業内容	正法寺山荘跡：地形測量（3,500 m ² ）、鈴鹿関跡：発掘調査成果整理 市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：12 件				
備考	測量委託：(株)イビソク、発掘調査委託：(有)北嶋建設				

事業者	津市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	203,705,000	総事業期間	H8-32		
H27度事業額	4,560,000	国補助額	2,280,000	県補助額	532,000
事業内容	H26度市内遺跡試掘・確認調査報告書作成・刊行、市内遺跡の確認調査（15件）、出土金属製遺物保存処理（3点）				
備考	保存処理委託：（公財）元興寺文化財研究所				

事業者	松阪市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	93,968,000	総事業期間	H12-35		
H27度事業額	3,080,000	国補助額	1,540,000	県補助額	359,000
事業内容	市内重要遺跡の確認調査（17件）及び立野4号墳出土金属製品の保存処理				
備考	保存処理委託：（公財）大阪市博物館協会				

事業者	明和町	事業名	町内遺跡発掘調査等		
総事業費	184,654,000	総事業期間	S45-		
H27度事業額	2,088,467	国補助額	1,000,000	県補助額	220,000
事業内容	町内遺跡の確認調査（11件）及び平成26年度分調査報告書刊行				
備考					

事業者	志摩市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	32,983,000	総事業期間	H22-32		
H27度事業額	2,720,547	国補助額	1,360,000	県補助額	317,000
事業内容	市内重要遺跡の発掘調査（試掘3ヶ所）及び市内遺跡詳細分布調査（阿児町・磯部町の一部）、志島古墳群4号墳出土遺物保存処理（11点）、発掘調査報告書作成				
備考	保存処理委託：（株）文化財サービス三重営業所				

事業者	名張市	事業名	市内埋蔵文化財 地域の魅力ある埋蔵文化財活用		
総事業費	91,500,000	総事業期間	H26-28		
H27度事業額	16,500,000	国補助額	8,250,000	県補助額	1,155,000
事業内容	埋蔵文化財センター整備。旧小学校本館の収蔵庫・展示室・事務室への改修工事のうち、H27度は便所改装・体験教室空調整備、体験学習用教材制作を行った。				
備考	設計委託：（株）丸栄建設、（株）スタジオ三十三、（株）松阪電子計算センター 工事請負：新興商事(株)、中西設備設計、小川電気工事(株)、（株）カナリヤ電機、（株）アドバンスコープ、				

(7) 重要伝統的建造物群保存地区

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理		
総事業費	1,356,005,000	総事業期間	S60-		
H27 度事業額	32,750,216	国補助額	16,375,000	県補助額	2,292,000
事業内容	設計監理、伝建地区内の建物修理 4 件（半解体修理）・修景 2 件に関する間接補助				
備考	設計監理委託：中浦建築事務所、シンカイ設計				

(8) 指定文化財管理事業による間接補助

事業者	個人	事業名	重文 町井家住宅主屋及び書院 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	209,520	総事業期間	H27
H27 度事業額	209,520	国補助額	-	県補助額	74,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火栓、避雷針等）の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン(株)中部支社				

事業者	合資会社 苗秀社	事業名	重文 旧松坂御城番長屋 保存修理		
所在市町	松阪市	総事業費	977,292	総事業期間	H27
H27 度事業額	977,292	国補助額	-	県補助額	488,000
事業内容	東棟 3、西棟 8 のガラス戸内付アルミサッシの交換、雨戸等建具修理				
備考	施工業者：伊藤建設（株）				

2 県費補助事業

(1) 建造物

事業者	宗教法人 白山比咩神社	事業名	白山比咩神社本殿ほか 2 棟 建造物防災施設		
所在市町	津市	総事業費	4,197,682	総事業期間	H27
H27 度事業額	4,197,682	国補助額	-	県補助額	2,098,000
事業内容	防蟻及び避雷針設置				
備考	工事請負：(株)中建築工務店、				

(2) 美術工芸品

事業者	宗教法人 真巖寺	事業名	木造薬師如来坐像 保存修理		
所在市町	尾鷲市	総事業費	3,132,500	総事業期間	H27-28
H27度事業額	1,984,500	国補助額	-	県補助額	992,000
事業内容	木造薬師如来坐像の修理				
備考	委託：愛知仏像修復工房				

事業者	宗教法人 潮音寺	事業名	銅造阿弥陀如来立像 防災施設		
所在市町	津市	総事業費	194,400	総事業期間	H27
H27度事業額	194,400	国補助額	-	県補助額	97,000
事業内容	防犯カメラ1台及び人感センサー1台、無線LAN配線等の設置				
備考	委託：中部電子システム(株)				

(2) 記念物

事業者	宗教法人 伊奈富神社	事業名	名 伊奈富神社庭園保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	3,985,000	総事業期間	H27-30
H27度事業額	985,000	国補助額	-	県補助額	492,000
事業内容	庭園内の池及び島の修復。H27度は発掘調査及び現況平面図作成を行った。				
備考	発掘労働派遣：公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会 測量委託：(株)イビソク				

事業者	宗教法人 波氏神社	事業名	矢頭の大杉樹勢回復		
所在市町	津市	総事業費	151,000	総事業期間	H27
H27度事業額	151,000	国補助額	-	県補助額	75,000
事業内容	樹勢の回復のための施肥及び枯損枝の切除				
備考	委託業者：中勢森林組合				

(3) 地域文化財総合活性化事業

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
天 ネコギギ 天然記念物再生 活用事業	十社小学校親師会	100,000	50,000	667	十社小学校児童と保護者を中心にネコギギや田切川の環境についての学習。
重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理 活用事業	(公財) 諸戸財団	31,169	15,000	87	修理現場の見学会(8回)の開催及び拓本体験
名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 活用事業	(公財) 諸戸財団	34,230	14,000	60	茶会の追体験
天 多度のイヌナシ自生地 天然記念物緊急調査 活用事業	NPO 多度自然育成の会	88,860	40,000	30	イヌナシ自生地に関するシンポジウム開催
重無民 桑名石取祭の祭車行事 民俗文化財伝承・活用等 活用事業	桑名石取祭保存会	222,457	105,000	100	地区のイベントでの体験学習
天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 歴史生き生き! 史跡等総合活用整備 活用事業	菰野町	15,000	7,000	15	小学生対象の対象文化財に関する体験学習
登録 朝日町資料館(旧朝日村役場)文化財建造物等活用地域活性化(登録有形文化財) 活用事業	朝日町	12,264	6,000	41	対象文化財を含む周辺の文化財ウォーク(2回)
市内遺跡 発掘調査等 活用事業	四日市市	40,057	20,000	924	展示会及びパンフレット作成
史 久留倍官衙遺跡 歴史生き生き! 史跡等総合活用整備 活用事業	久留倍遺跡運営委員会	245,225	122,000	313	古代衣装の制作・公開、中学生による演劇
史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ(先行取得償還) 活用事業	四日市市	20,207	10,000	436	久留倍官衙遺跡に関する学習講座(4回)開催
天 御池沼沢植物群落 天然記念物再生 活用事業	四日市市	40,764	20,000	86	対象文化財のパンフレット作成及び環境保全活動
史 伊勢国分寺跡 歴史生き生き! 史跡等総合活用整備 活用事業	鈴鹿考古博物館サポート会	20,226	10,000	428	歴史勉強会及びイベント実施
史 市内遺跡 発掘調査等 活用事業	鈴鹿市	140,246	70,000	152	発掘体験及び展示説明会
名 伊奈富神社庭園 保存修理 活用事業	伊奈富神社庭園七島池保存会	21,821	10,000	141	発掘調査現地説明会及び庭園の清掃除草
天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 活用事業	亀山市	30,016	15,000	31	対象文化財に関する講義・ワークショップ

名 称	事業主体	事業額	補助額	参加者数	内容
史 市内遺跡 発掘調査等 活用事業	亀山市	455,400	200,000	50	展示解説会・現地見学会・パンフレット作成
重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理 活用事業	特定非営利活動法人 亀山文化資産研究会	41,657	20,000	40	修理工事現場公開（2回）
矢頭の大杉 樹勢回復 活用事業	宗教法人 波氏神社	11,115	5,000	40	対象文化財に関する講演会の開催
市内遺跡 発掘調査等 活用事業	津市	25,320	12,000	64	対象文化財に関する講演会開催
重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理 活用事業	(宗) 専修寺	55,828	25,000	50	修理内容に関する講演会開催
旧明村役場庁舎 文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財） 活用事業	津市	21,480	10,000	52	対象文化財に関する講演会
重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理 活用事業	松浦武四郎記念館友の会	12,000	6,000	36	修理内容に関する講演会開催
市内遺跡 発掘調査等 活用事業	松阪市	50,000	25,000	—	対象文化財に関するリーフレット作成・配布
史 松坂城跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備 活用事業	松阪市	50,000	25,000	37	現地説明会実施及びパンフレット作成配布
町内遺跡 発掘調査等 活用事業	明和町	71,496	35,000	227	企画展開催及び説明リーフレット作成
史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ） 活用事業	(公財) 国史斎宮跡保存協会	200,539	100,000	223	盤双六教室及び講義
史 斎宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還） 活用事業	三重県かるた協会	237,918	115,000	137	かるた大会及び記念講演会
名 二見浦 歴史生き生き！史跡等総合活用整備 活用事業	伊勢市	9,308	4,000	50	防災講演会
重文 神宮祭主職舎本館（旧慶光院客殿） 建造物保存修理 活用事業	宗教法人 神宮	124,200	50,000	13	展示会及びパンフレット作成
登録 旧鳥羽小学校校舎 文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財） 活用事業	鳥羽市	64,360	32,000	360	対象文化財の展示会
市内遺跡 発掘調査等 活用事業	志摩市	102,856	50,000	223	展示会及びパンフレット作成
真巖寺 木造薬師如来坐像 保存修理 活用事業	宗教法人 真巖寺	122,040	61,000	21	修理現場見学
史 上野城跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備 活用事業	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設等開放事業実行委員会	176,313	88,000	1,690	周辺文化財の文化財ウォーク、スタンプラリー

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
史 旧崇広堂 歴史生き生き！史跡等総合活用整備 活用事業	伊賀市	40,000	20,000	22	対象文化財に関する講座（2回）
重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等 活用事業	上野文化美術保存会	60,005	30,000	32	体験学習及びウォーク
史 伊賀国庁跡 史跡等買上げ（直接買上げ） 活用事業	府中地区住民自治協議会	40,000	20,000	55	文化財ウォーク及び講座（2回）
俳聖殿 建造物防災施設等 活用事業	伊賀市	16,714	8,000	10	防災に関する講演会
市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用 活用事業	名張市	200,037	100,000	105	まち歩き及び体験教室
活用事業	38 件	3,251,128	1,555,000	7,048	

3 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業を推薦し、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市町	助成額	事業内容
（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団	若宮八幡神社北村石取り祭車保存会	四日市市	500,000	道具の新規購入

IV 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類

審査日：平成 27 年 5 月 19 日、7 月 28 日、10 月 6 日、12 月 8 日、平成 28 年 3 月 1 日

実施場所：県庁舎会議室（津市桜橋）

審査委員：

小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 後藤静一（日本美術刀剣保存協会三重県支部）
 中西 勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）
 東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	281 件	27 件	308 件
登録証再交付数	30 件	14 件	44 件
製作承認件数	3 件	—	3 件
所有者変更数	724 件	71 件	795 件
登録証返納数 （輸出返納含む）	68 件	0 件	68 件

(2) 天然記念物 紀州犬

審査日：平成 27 年 5 月 24 日

実施場所：結城神社境内（津市藤方）

審査員：中谷和生（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部長）

岸川徳成（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部副支部長）

木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部顧問）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
816	東海の鉄	雄	H27.6.8	鈴鹿市
817	古道ノ豊女	雌	H27.6.8	松阪市
818	湘南ノ星	雌	H27.6.8	津市
819	伊勢の胡麻	雄	H27.6.8	多気町

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
820	胡麻麻女	雌	H27.6.8	多気町
821	伊勢乃紫女	雌	H27.6.8	鈴鹿市
822	白勇	雄	H27.6.8	四日市市

(3) 天然記念物 日本鶏

審査日：平成 27 年 5 月 31 日

実施場所：斎宮歴史博物館

審査員：富田靖男（元三重県立博物館長）

西川祥一（日本家禽会三重県支部長、天然記念物三重県五鶏保存会会長）

佐々木健二（三重県農林水産部フードイノベーション課）

西川薫（三重県農林水産部畜産研究所中小家畜研究課）

登録番号	鶏種	内種	性別	登録日	所有者住所
999	小国鶏	白色種	番	H27.6.15	度会郡玉城町
1000	河内奴鶏	五色種	番	H27.6.15	度会郡玉城町
1001	小国鶏	白色種	雄	H27.6.15	度会郡玉城町
1002	烏骨鶏	—	番	H27.6.15	度会郡玉城町
1003	河内奴鶏	五色種	番	H27.6.15	度会郡玉城町

2 文化財の管理

(1) 文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員（59名）を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	嶋村明彦・大城哲也	建造物		
	山野直也・清水善吉・中野環	天然記念物		
	渡辺勝敏・森川裕之・川島大助・加藤雅之	天然記念物（ネコギギ）		
北勢	蒔田英彦・久安典之・大森尚子	建造物	桑名市	9
			いなべ市	2
	松本寛・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	木曽岬町	0
中勢	稲富正充・山田幸三	建造物	東員町	0
			瀧川和也・藤田直信	彫刻
	浅生悦生・新田洋・西田尚史・増田安生・奥義次・縣拓也・林和範	埋蔵文化財	菰野町	3
南勢	川添護・桐生定巳	天然記念物	朝日町	1
			津市	13
	西川浩之・中優・高松隆吉・川岸悟	天然記念物	松阪市	12
伊賀	松月久和・東原達也	建造物	多気町	3
			瀧井利彰・岩見勝由	彫刻
	瀧井利彰・岩見勝由	建造物	大台町	3
紀勢・東紀州	瀧井利彰	彫刻	伊勢市	2
	寺岡光三・市田進一・水口昌也・大花健生	埋蔵文化財	鳥羽市	9
	杉澤学	天然記念物	玉城町	0
	宮原良雄	建造物	度会町	3
	田崎通雅・岩本直樹・福村直昭	建造物・彫刻	南伊勢町	2
伊賀	東浩成・福村直人	埋蔵文化財	大紀町	3
			志摩市	11
	山本和彦	天然記念物	伊賀市	32
	向井弘晏・東明男・更屋好年・谷水穂・西村功古畑和良・植松元夫・東公雄	熊野参詣道	名張市	5
	尾鷲市	11		
紀勢・東紀州	向井弘晏・東明男・更屋好年・谷水穂・西村功古畑和良・植松元夫・東公雄	熊野参詣道	紀北町	37
			熊野市	20
	御浜町	1		
	紀宝町	3		

(2) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
北勢・中勢・伊賀	4月23日(木) 13:30~16:30	県鈴鹿庁舎	平成27年度文化財保護事業の概要 指定文化財に関する事務手続き等 文化財パトロールの実施
中勢(松阪)・南勢	4月24日(金) 13:30~16:30	県伊勢庁舎	
尾鷲・熊野	4月20日(月) 13:30~16:30	県尾鷲庁舎	

② オオサンショウウオ保護連絡会議

オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有するため、会議を開催した。

日 時	平成28年2月18日(水) 13:30~17:00	場 所	名張市市民情報交流センター 会議室
講 演	「岐阜県内ならびに木曽川流域における特別天然記念物オオサンショウウオの生息状況について」 名古屋女子大学家政学部特任教授 駒田 格知		
報 告 事 項	○オオサンショウウオ保全対策について 三重県伊賀建設事務所、奈良県宇陀土木事務所、曾爾村教育委員会 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所、独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所、 ○オオサンショウウオ緊急調査について 名張市教育委員会・宇陀市教育委員会 ○オオサンショウウオの現状変更にかかる手続きについて 三重県教育委員会		
助 言 者	松井 正文(京都大学教授)、富田 靖男(元三重県立博物館長) 佐藤 孝則(天理大学おやさと研究所 教授)、清水 善吉(三重自然誌の会事務局) 松月 茂明(元日本サンショウウオセンター学芸員)		

③ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日 時	平成28年2月23日(火) 13:30~17:00	場 所	三重県伊勢庁舎 第401会議室
講 演	「環境DNAを用いた水生生物のモニタリング」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科特命助教 源 利文		
事 例 報 告	○現状変更等事例報告 桑名建設事務所、鈴鹿建設事務所、津建設事務所、松阪建設事務所、伊勢建設事務所、 国土交通省紀勢国道事務所、中日本高速道路株式会社名古屋支社四日市工事事務所 ○亀山市ネコギギ再生事業について 亀山市文化庁 ○いなべ市ネコギギ緊急調査事業について いなべ市教育委員会 ○平成27年度ネコギギ生息状況調査報告 三重県教育委員会		
助 言 者	森誠一(岐阜経済大学教授)、渡辺勝敏(京都大学大学院准教授)、佐川志朗(兵庫県立大学大学院准教授)、田代喬(名古屋大学減災連携研究センター准教授)		

④ オオダイガハラサンショウウオ学習会

オオダイガハラサンショウウオの保護について関係者の理解を深めるため、三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県及び奈良県、和歌山県教育委員会で協働して、学習会を開催した。



日 時	平成27年7月22日(水)12:30~14:30	場 所	大杉谷国有林千尋峠(多気郡大台町大杉)
内 容	オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。		

(4) 埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
土師器 須恵器 灰釉陶器	28	多気郡明和町竹川字中垣内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 陶器	1	多気郡明和町斎宮字古里	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器	1	多気郡明和町斎宮字内山	史跡斎宮跡	三重県	近畿日本鉄道株式会社	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 緑釉陶器 灰釉陶器	3	多気郡明和町斎宮字楽殿、西加座、柳原地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 陶器 青磁	8	多気郡明和町竹川字中垣内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 陶器 青磁	10	多気郡明和町斎宮字内山	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
須恵器 陶器	1	多気郡明和町竹川字東浦	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器	1	多気郡明和町斎宮字内山	史跡斎宮跡	三重県	近畿日本鉄道株式会社	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 陶器	2	多気郡明和町斎宮字牛葉	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 陶器	2	多気郡明和町斎宮字東前沖	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器	2	多気郡明和町竹川字古里	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 陶器 磁器 瓦	5	多気郡明和町斎宮字中西	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器	1	多気郡明和町斎宮	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器	1	多気郡明和町斎宮字中西	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H27.4.8	H27.5.15
土師器 須恵器 陶器 磁器	41	多気郡明和町斎宮字御館	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.5.28	H27.6.8
土師器 須恵器 陶器 磁器	19	多気郡明和町斎宮字御館	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H27.5.28	H27.6.8
磁器 陶器 瓦 銭貨 銅製品 石製品 土製品	63	松阪市六軒町地内	市場庄遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H27.11.5	H27.11.20
須恵器 土師器	10	桑名市大字志知	北山C遺跡	三重県	中日本高速道路会社	三重県埋蔵文化財センター	H27.12.9	H27.12.25
縄文土器 土師器 陶器	20	鈴鹿市小岐須町	釜垣内遺跡	三重県	中日本高速道路会社	三重県埋蔵文化財センター	H28.1.5	H28.1.15
縄文土器 石器	44	三重郡菟野町音羽	鈴山遺跡	三重県	中日本高速道路会社	三重県埋蔵文化財センター	H27.12.18	H28.1.15
須恵器 陶磁器	29	津市河芸町杜の街4丁目	西毛谷北古墳・西毛谷A遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H28.1.12	H28.1.15
縄文土器 土師器 陶器 石器	94	四日市市小牧町	小牧南遺跡	三重県	中日本高速道路会社	三重県埋蔵文化財センター	H28.1.21	H28.2.12
陶磁器 木製品 金属製品	49	松阪市本町	松坂城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H28.1.28	H28.2.12
縄文土器 土師器 陶器 砥石 石器等	12	三重郡菟野町潤田	大久保遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.9	H28.2.12
土師器 陶器	5	多気郡多気町下出江地内	中切遺跡	三重県	出江土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.10	H28.2.12

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
土師器 土製品 陶器	7	多気郡多気町下出江地内	新神馬場遺跡	三重県	出江土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.10	H28.2.12
土師器 土製品 陶器	21	多気郡多気町下出江地内	山見遺跡	三重県	出江土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.10	H28.2.12
陶器 磁器 瓦	2	鈴鹿市末広北1丁目	石垣遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.17	H28.2.19
縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 陶器 鉄製品 銅製品 漆製品 木製品 石製品等	297	松本市和屋町・立田町	朝見遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.26	H28.3.1
土師器 陶器	6	鈴鹿市小社町	小社遺跡	三重県	中日本高速道路会社	三重県埋蔵文化財センター	H28.2.29	H28.3.4

(5) 埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
陶器 磁器 瓦等	10	松本市殿町	松坂城下町遺跡 (H23-3次)	松本市教育委員会教育長	松阪市長	松本市教育委員会	H27.3.9	H27.5.7	三重県教育委員会
弥生土器 土師器 須恵器 砥石	7	鈴鹿市木田町字上條	磐城山遺跡 第7-2次 (19次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H27.3.30	H27.5.7	三重県教育委員会
土師器 陶器 磁器 瓦等	8	松本市殿町	松坂城下町遺跡	松本市教育委員会教育長	松阪市長	松本市教育委員会	H27.3.27	H27.5.7	三重県教育委員会
土師器 須恵器 埴輪 陶器 青磁等	2	松本市甚目町字南浦	小野江・甚目遺跡	松本市教育委員会教育長	松阪市長	松本市教育委員会	H27.3.27	H27.5.7	三重県教育委員会
土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡 (H26-5次②)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H27.5.12	H27.5.26	三重県教育委員会
土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡 (H26-5次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H27.4.22	H27.5.26	三重県教育委員会
土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡 (H26-3次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H27.4.22	H27.5.26	三重県教育委員会
土師器 須恵器 陶器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡 (H26-3次②)	津市教育委員会教育長	有限会社ピュアコーポレーション	津市埋蔵文化財センター	H27.5.22	H27.6.8	三重県教育委員会
弥生土器 土師器 須恵器 陶器	4	鈴鹿市木田町字間瀬口	間瀬口遺跡 第1次	鈴鹿市長	社会福祉法人 鈴鹿聖十字会	鈴鹿市考古博物館	H27.5.27	H27.6.12	三重県教育委員会
土師器 陶器 磁器 木製品 鉄器等	66	松本市久米町	久米南遺跡	松本市教育委員会教育長	個人	松本市教育委員会	H27.7.3	H27.7.27	三重県教育委員会
土師器 陶器	1	津市安濃町太田連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡 (H27-1次)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H27.7.16	H27.7.27	三重県教育委員会
土師器 須恵器 土錘	1	津市白塚町字泥	丸林遺跡 (H27-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H27.7.31	H27.8.25	三重県教育委員会
弥生土器	1	鈴鹿市上野町字西久保	一反通遺跡	個人	個人	鈴鹿市考古博物館	H27.1.19	H27.8.25	三重県教育委員会
陶器	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡 (H27-1次②)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H27.8.25	H27.9.11	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
弥生土器 土師器 須恵器 陶器 獣骨	6	鈴鹿市十宮三丁目	宮ノ前遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H27.10.6	H27.10.16	三重県教育委員会
須恵器 土師器 金属製品	1	鈴鹿市木田町字赤兀	大谷古墳第1次	鈴鹿市長	大谷町自治会 自治会長	鈴鹿市考古博物館	H27.10.5	H27.10.23	三重県教育委員会
土師器 須恵器 陶器	1	津市栄町一丁目	四天王寺廃寺	津市教育委員会教育長	宗 教 法 人 四天王寺	津市埋蔵文化財センター	H27.10.8	H27.10.23	三重県教育委員会
土師器 須恵器 磁器 陶器 近世陶器 瓦 近代陶磁 石板 ガラス瓶	2	鈴鹿市稻生町	伊奈富神社遺跡(県名勝伊奈富神社庭園)	鈴鹿市長	宗 教 法 人 伊奈富神社	鈴鹿市考古博物館	H27.10.13	H27.11.2	三重県教育委員会
須恵器 土師器 陶器 磁器 近世陶器 瓦 石硯 加工円盤 土錘	5	鈴鹿市若松西二丁目	土師南方遺跡第2次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H27.10.19	H27.11.9	三重県教育委員会
土師器 陶器 瓦	1	津市栄町一丁目	四天王寺廃寺(H27-1次②)	津市教育委員会教育長	宗 教 法 人 四天王寺	津市埋蔵文化財センター	H27.11.18	H27.11.30	三重県教育委員会
瓦 土師器 陶器 磁器	22	津市久居西鷹跡町	久居城下町遺跡第11次・巽ヶ丘遺跡	津市教育委員会教育長	株式会社三重総合コンサルタント	津市埋蔵文化財センター	H27.11.18	H27.11.30	三重県教育委員会
弥生土器 土師器 須恵器 石器	32	鈴鹿市木田町字西條	磐城山遺跡第8次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H27.11.24	H27.12.11	三重県教育委員会
縄文土器	1	津市新家町	木造赤坂遺跡(H27-3次)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H27.12.28	H28.2.3	三重県教育委員会
瓦(磚)	1	鈴鹿市国分町	伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H28.2.5	H28.2.19	三重県教育委員会
弥生土器 土師器 須恵器 陶器 磁器 木製品 近世陶器	45	鈴鹿市十宮四丁目	十宮古里遺跡第5次	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H28.2.9	H28.2.26	三重県教育委員会
土師器	1	津市高茶屋一丁目	北垣内遺跡(H27-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.2.23	H28.3.9	三重県教育委員会
弥生土器 土師器 陶器	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡(H27-2次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.3.18	H28.3.25	三重県教育委員会

(6) 出土文化財の譲与

譲与日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見日
H27.9.25	津市教育委員会教育長	瓦 陶磁器 木製品	17	津市丸之内	津城跡(第4次)	H26.9.17
H27.9.25	津市教育委員会教育長	須恵器 弥生土器 土師器	6	津市河芸町杜の街四丁目地内	西毛谷B遺跡(第1次)	H26.9.17
H27.9.25	津市教育委員会教育長	須恵器 土師器	11	津市河芸町杜の街四丁目地内	西毛谷A遺跡(第1次)	H26.9.17
H27.9.25	津市教育委員会教育長	須恵器 土師器等	100	津市河芸町杜の街四丁目地内	徳居10号窯跡(第1次)	H26.9.17
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 瓦質土器 陶器	1	津市安濃町曾根字大ヲ日、同字前の各一部	曾根北浦遺跡(H26-3次)	H26.9.22
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町前野字里の一部	前野A遺跡(H26-1次)	H26.9.24

譲与日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見日
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 陶器	1	津市納所町字小堀	蔵田遺跡(第6次)	H26.9.30
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 陶磁器	1	津市芸濃町雲林院字堀	西之院遺跡(H26-1次)	H26.10.21
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 陶器	1	津市一志町片野字西垣内	片野遺跡(H26-1次②)	H26.10.29
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 陶器	1	津市高茶屋四丁目	小森城跡	H26.10.31
H27.9.25	津市教育委員会教育長	縄文土器	1	津市一志町田尻字上ノ	田尻上野遺跡(H26-1次)	H26.10.28
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市城山一丁目	高茶屋大垣内遺跡(H26-1次)	H26.11.14
H27.9.25	伊賀市教育委員会教育長	土師器 陶磁器 瓦等	10	伊賀市上野忍町	上野城下町遺跡	H26.9.25
H27.9.25	鈴鹿市長	須恵器 土師器 山茶碗	1	鈴鹿市岸岡町字野口	天王遺跡(試掘)	H26.11.20
H27.9.25	鈴鹿市長	須恵器 土師器 灰釉陶器 山茶碗 羽釜	1	鈴鹿市岸岡町字野口	天王遺跡(第15次)	H26.11.30
H27.9.25	鈴鹿市長	弥生土器 土師器 須恵器 灰釉陶器 山茶碗 耳環	35	鈴鹿市十宮三丁目	宮ノ前遺跡(第3次)	H26.12.2
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 山茶碗	1	津市高茶屋一丁目	北垣内遺跡(H26-1次)	H26.12.3
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 山茶碗	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H26-3次)	H27.2.4
H27.9.25	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 陶器	1	津市雲出島貴町字北浦	山鶴遺跡(H26-1次)	H27.2.13
H27.10.16	鈴鹿市長	弥生土器	1	鈴鹿市上野町字西久保	一反通遺跡(表探資料)	H27.1.19
H27.10.16	鈴鹿市長	須恵器 土師器 山茶碗 銅銭	2	鈴鹿市平野町字石丸	石丸野1号墳(第2次)	H26.12.24
H27.11.9	津市教育委員会教育長	土師器 須恵器 陶器	1	津市雲出島貴町字北浦	山鶴遺跡(H26-1次②)	H27.3.10
H27.11.9	津市教育委員会教育長	陶器	1	津市美杉町竹原	竹原中垣内遺跡(H26-3次)	H27.3.9
H27.11.20	志摩市教育委員会教育長	土器、石器	5	志摩市阿児町志島	志島古墳群4号墳(第3次)	H27.1.5
H28.1.5	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡(H26-5次②)	H27.5.12
H28.1.5	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡(H26-3次)	H27.4.22
H28.1.5	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、陶器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H26-3次②)	H27.5.22
H28.1.5	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市高茶屋小森町字向山	向山遺跡(H26-5次)	H27.4.22
H28.1.29	津市教育委員会教育長	土師器、山茶碗	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡(H27-1次)	H27.7.16
H28.2.26	松阪市教育委員会教育長	陶器、磁器、瓦等	10	松阪市殿町	松坂城下町遺跡	H27.3.9
H28.2.26	松阪市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、瓦等	8	松阪市殿町	松坂城下町遺跡	H27.3.27
H28.2.26	松阪市教育委員会教育長	土師器、須恵器、埴輪、陶器、磁器、青磁等	2	松阪市甚目町字南浦	小野江・甚目遺跡	H27.3.27
H28.2.26	松阪市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、木製品、鉄器等	66	松阪市久米町字町田	久米南遺跡	H27.7.3
H28.2.26	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、砥石	7	鈴鹿市木田町字上條	磐城山遺跡(第7-2次)	H27.3.30
H28.2.26	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗	4	鈴鹿市木田町字間瀬口	間瀬口遺跡(第1次)	H27.5.27
H28.3.31	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、土錘	1	津市白塚町字泥	丸林遺跡(H27-1次)	H27.7.31
H28.3.31	津市教育委員会教育長	山茶碗	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡(H27-1次②)	H27.8.25

3 国・県指定文化財に関する諸届等

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合は含んでいない。

(1) 国指定文化財

① 重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可					
旧松坂御城番長屋 東棟・西棟	建造物		1		1			2
旧賓日館本館ほか 2 棟	建造物				1			1
観菩提寺楼門	建造物			2				2
木造四天王立像（市場寺所有）	彫刻				1			1
合計		0	1	2	3		1	6

② 民俗文化財

該当なし。

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
久留倍官衙遺跡	史跡	3	2			5
伊勢国分寺跡	史跡	1				1
谷川土清旧宅	史跡			1		1
多気北畠氏城館跡	史跡	2	1			3
松坂城跡	史跡	3				3
斎宮跡	史跡	32	25			57
水池土器製作遺跡	史跡	1				1
熊野参詣道	史跡	4	1			5
上野城跡	史跡	3	8			11
旧崇広堂	史跡			2		2
伊賀国分寺跡	史跡			1		1
旧諸戸氏庭園	名勝	1	3			4
諸戸氏庭園	名勝	4	1			5
北畠氏館跡庭園・多気北畠氏城館跡	名勝・史跡			2		2
三多気の桜	名勝	1		1		2
二見浦	名勝	3		1		4
城之越遺跡	名勝・史跡			1		1
合計		58	47	3		108

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
	国	県・市許可			
カモシカ	1		7		8
オオサンショウウオ	17	3	7		27
ネコギギ	24	2			26
中村川ネコギギ生息地	1				1
ヤマネ	2	1			3

文化財名称	現状変更		減失・き損	復旧	合計
	国	県・市許可			
西阿倉川アイナシ自生地	2				2
御池沼沢植物群落	2	1			3
大杉谷	1				1
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	1	2			3
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	1				1
合計	52	9	14		75

(2) 県指定文化財

① 有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
旧三重県第三尋常中学校校舎 附 正門	建造物		1	2			3
旧長谷川家住宅主屋 ほか19棟	建造物			1			1
紙本墨書古文書	文書				1		1
鐔拓本集 中村覚太夫編	書跡				1		1
松尾芭蕉関係資料	書跡			1			1
合計			1	4	2		7

② 民俗文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
道楽神石塔	有形民俗				1		1
射和祇園祭の屋台行事	無形民俗				1 (※保持団体の名称変更)		1
合計					2		2

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		減失 き損	復旧	合計
		県	市			
桑名城跡	史跡	4				4
諸戸水道貯水池遺構	史跡			1		1
大日堂の五百羅漢	史跡	1				1
白鳥塚古墳	史跡	1				1
津城跡	史跡			3		3
坂本古墳群	史跡	1				1
五ヶ所城跡 附 愛洲氏居館跡及墳墓	史跡	1				1
鳥羽城跡	史跡	1				1
田丸城跡	史跡	3				3
城之越遺跡	史跡			1		1
長谷川氏旧宅	史跡 名勝	1				1
伊奈富神社庭園	名勝	3				3
専修寺庭園	名勝 史跡	2				2
瑞巖寺庭園	名勝	2				2
宮川堤	名勝	1				1
合計		21	3	2		26

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		減失 き損	復旧	合計
	県	市			
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1				1
豊浦神社社叢	1				1
東平寺のシイノキ樹叢	1				1
篠立の風穴	1				1
佐波留島	1				1
おおだいがはらさんしょううお	1				1
見江島いわつばめ棲息地	1				1
矢頭の大杉	1				1
地藏大マツ	1				1
ジュロウカンアオイ自生地	1				1
合計	10				10

4 文化財の公開・普及

(1) 三重県文化財講習会（第33回）

文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資するため、文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として年1回、三重県指定文化財等所有者連絡協議会と共催で講習会を行っている。

日時	平成27年10月29日（木）		
場所	齋宮歴史博物館	参加者	65名
テーマ	『齋宮跡の整備と活用～国史跡と日本遺産～』		
内容	講演：「国史跡「齋宮跡」の整備と活用」 齋宮歴史博物館 大川勝宏 報告：「日本遺産「祈る皇女齋王のみやこ 齋宮」 明和町齋宮跡・文化観光課 中野 敦夫 見学会：齋宮歴史博物館特別展「よみがえる齋宮」展 史跡公園「さいくう平安の杜」		

(2) 第57回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。

日時	平成27年11月8日（日）		
場所	郡上市総合文化センター（岐阜県郡上市）		
出演目	睦月神事（福井県）、京都の六齋念仏（京都府）、 寒水の掛踊・小野八幡神社祭礼（岐阜県）、水 沢お諏訪おどり（三重県）、赤穂八幡宮獅子舞 （兵庫県）、団七踊（和歌山県）、		

(3) 文化財保護強調週間行事

○文化財保護強調週間（平成27年11月1日～7日）
及び近接期間の行事実施状況

	県	市	町	合計
指定文化財公開事業・文化財ウォーク等（文化財を見て歩こう！）	1	5	2	8
実演・発表会・体験教室・シンポジウム等（本物を見て、聞いて、体験する！参加する！）	0	2	1	3
特別展・企画展（博物館・美術館に行こう！）	1	7	2	10
その他のイベント（コンサート・文化財愛護表彰・文化祭等）	1	0	0	1
合計	3	14	5	22

(4) 文化財防火デー

○関連防火運動実施状況（平成28年1月26日以外に実施したものも含む）

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	2
市	11	16	12	26
町	4	8	7	12
計	17	26	21	40

(5) 文化財保護の組織（平成27年度）

社会教育・文化財保護課 課長 辻 善典
有形文化財班

班長 竹田 憲治
主幹（班長代理） 伊藤 裕偉
主幹 木本 武視
主幹 鈴木 昭子
主査 角正 淳子

記念物・民俗文化財班

班長 竹内 英昭
主幹（班長代理） 小濱 学
主幹 西村 美幸
主査 新名 強
主査 藤原 良幸
技師 川部 浩司

三重県の文化財保護 平成27年度 発行 平成30年3月 編集 三重県教育委員会 印刷 株式会社アイブレーン
--

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成 28 年 3 月 31 日現在

種別		国	県	計
(有形文化財) 重要文化財	建造物	24	44	68
	絵画	18	44	62
	彫刻	66	110	176
	工芸品	17	59	76
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書 3）	45	55	100
	考古資料(内、国宝 1)	10	29	39
	歴史資料	4	9	13
	小計	184	350	534
文化財 無形	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	小計	1	2	3
文化財 民俗	無形民俗文化財	8	37	45
	有形民俗文化財	1	25	26
	小計	9	62	71
記念物	特別史跡	1	－	1
	特別天然記念物	2	－	2
	特別名勝及び天然記念物	1	－	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小計	84	166	250
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	－	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		223	－	223
登録有形民俗文化財		1	－	1
登録記念物		1	－	1
小計		241	11	252
総計		519	591	1110
ふるさと文化財の森		4		4